京城日報

八月二十八日夕刊（朝夕併せて八頁）
發行兼編輯人 奥田直 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

◇セ軍兩地占領 敵毒藥を井戸に投ず

共紐育電＝セミヨノフ枝隊は二十四日ダウリヤを占領し主力を同地附近に集中しつゝあり尚前進部隊はバラノールを占領せり鐵道沿線の敵兵力は不明なるもソクトウイ附近に約一千あり退却に際し敵は鐵橋給水機を破壞し各驛の給水井に毒藥を投じたり（東京特電）

◇シマコフカ占領 廿六日敵を追撃中

陸軍省公表＝ベーラヤ河右岸に退却せし敵はシマコフカ附近に停止して陣地を占領し之に對し聯合軍は第十二師團の主力を以て同河左岸の線に沿ひアントノフカ、コマロフカ及び鐵道線路附近に位置し極力敵情偵察に努め二十五日敵は再び北方に退却し我歩兵一中隊は近く敵に尾してシマコフカ驛を占領せり聯合軍は二十六日早朝より敵を追撃し北進中なり（東京特電）

◇チ軍兩地奪取か

共紐育電報＝ウエルフネウヂンスク、シンセレギンスクは西方より來れるチエツク軍と該地附近にありし哥薩克軍の爲に一日奪取されたるもの如く同地にありし過激派並に赤衛軍は東方鐵道沿線恰吉圖方面に退却せりと（東京特電）

◇チタ附近敵警戒

共紐育電報＝チタ附近の敵は監視所を配置し探照燈にて警戒しつゝあり（東京特電）

◇某部隊愈々出動

愈々市要命令下りたる○兵○○聯隊の○○部隊は二十六日より營舍を出て○○町及び○○村附近人家に宿泊し之と入代りて二十七日朝召兵部隊に入隊すべく之が爲め○○町附近には二十六日軍用○○架設中にて戰時氣分漲りつゝあり（○○特電）

◇英軍司令官出發

英國浦鹽派遣軍司令官陸軍中將ノックス氏一行三名は二十九日午前八時半東京驛發列車にて釜山經由浦鹽に向ふ筈なり（山京特電）

◇チエツク更に蹶起 過激派動搖＝恰克圖人心恟々

中部西伯利に在りしチエツクは聯合與國の出兵を機とし之に應ぜんが爲更に蹶起しウエルフチフヂンスクの攻撃を企てたるを以て同地方過激派動搖の色あり其退却地點をペトロフスキー及び恰克圖と定めたりと傳へられ爲に恰克圖の人心恟々たり（[illegible]電報）

◇浦鹽政爭兩成敗

某消息通誌は浦鹽の政變は要するにホルワツト側のペレシコフ將軍と西伯利亞政府側のトルストフ大佐との勢力爭ひなるが領事團が秩序維持に就き警戒せる爲め喧嘩兩成敗に終り事重大に至らず解決せり（東京特電）

◇過激首領遁亡說打消

英國發共紐育電＝十九日獨逸無線電信はレニン及びトロツキー遁亡說を虛電なりとし此風評はウオルガ方面に出張中なりしトロツキーがクロンスタットに開會されたる國民議會に出席中なるレニンと會合の爲め同地に赴き此處に落合ひたるより傳播されたるものなりと報ぜり（東京特電）

◇西政府兩相渡英

西伯利政府首相ラウロフ氏及びデルベル外相は渡英の目的にて浦鹽領事團に出頭して海外旅劵を願出でたりと（敦賀電報）

◇芬蘭國王選擧

芬蘭の國王選擧は近く行はるべく選擧委員は獨逸に向ひ出發せり國王はメクレンベルヒ、シウエリン大公の姻戚にて退役騎兵少佐アドルフ、フリードリツヒ公に内定し居りされど君主政體に反對者多きを以て更に紛亂を生ずる虞あり（ストックホルム電報）

◇段總理内心妥協

國際委員側の消息に據れば段内閣は表面對南主戰を聲明し居るも裏面妥協の氣滿ち近く譚浩明氏の代表者入京せば之と妥協の意嚮あるものの如く徐謙氏は茲兩三日中の形勢を見て現職に復職するやも知れずと（北京特電）

◇復辟謠言流布

最近康有爲氏の來京せると張勳氏近く釋放さるべき議あるとに依り時節柄復辟と關係ある者の如く種々の謠言流布されつゝあり（北京特電）

◇段總理對抗策

既電長江三督軍より總統選擧を時局解決後にすべしと電請し來れるに對し段祺瑞氏は馮國璋氏の陰謀に依るものとし對抗策を講じつゝあり（北京電報）

◇金劵條令と抗議

金劵條令發布手續きの誤れるに對し關係各公使は一兩日中支那政府に對し抗議提出の筈なり（北京電報）

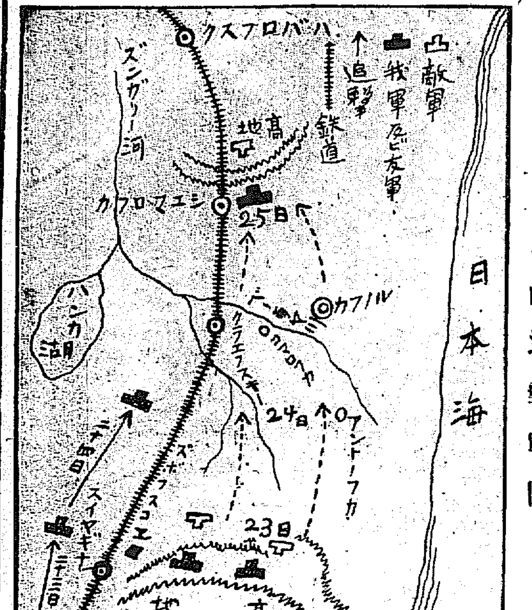
◇英軍隨處敵强壓

在佛英軍總司令官ヘイグ元帥二十四日附公報＝二十四日早朝ソンム河北の戰場にて戰鬪間斷なく行はれ我軍到る處敵を强壓し全攻擊正面に亘りて進出し多數の俘虜及各種材料等多數を得たり濠洲軍はブレウ、シユール、ソンムを奪取し若干の俘虜を收め前進を繼續し其他の軍も舊ソンム戰場に前進せり我軍は再びチーブヴル丘に跨り東方に向ひ前進中なり（巴里電報）

◇米健鬪戰線更正

獨軍は精鋭の武器を使用せるもフイーム西方の攻擊にて米軍を阻止する事能はず米軍は奮鬪の結果ヴエール北方の聯合軍の戰線を計畫通り一直線となせり（華盛頓電報）

◆沿海州方面追擊戰圖



◇東京期米大暴落 收用價格發表の結果

正米收用價格が豫想外の定價に公定發表されたるより廿七日東京期米市場は一圓五十錢安の大暴落を演ぜり（東京特電）

◇上院各派協議會 政府に警告

貴族院各派聯合會第二回協議會は二十六日午後三時より研究會本部にて開會協議の結果貴族院各派一致の態度を以て誠心誠意政府に對し速に米價問題を責任を以て解決し國民をして安堵せしむべしとの警告を發することに決し各派より一名宛の委員を出だすこととして散會せるが尚二十七日も引續き協議會を開會せり（東京特電）

◇堂島と收用令 不日重役會議開催

堂島取引所にては今回の正米收用令に據る時は三十三圓以內に就き此の儘立會續行せば賣買の孰れかに如何なる怪我人を出すやも知れずとて結局立會停止の外無かる可く近日重役會開催何分の決定を見る可しと傳へらる（大阪特電）

◇堂島暴落原因

大阪堂島市場の暴落は米買收價格發表の結果なり（大阪特電）

◈哈爾賓の活氣 東拓の水道調査＝出兵と景況 關屋東拓土木課長談

哈爾賓に於ける上下水道の施設調査のため東拓支店より同地に出張しゐたる關屋土木課長は二十七日朝歸京したるがその談に曰く哈爾賓上下水道の施設を果して東拓に於て引受くる事となるか若くば上水下水の一方を引受くるか又は別個の會社を組織するかそれらの點に就て予は關知せず若干知り居れりとて未だ言明の期に達せず、予は

▲唯技術上 よりハルビン上下水道の工事可能なるや否やを調査し來れり滯哈約一週日其に市內市外を踏査したるが上水下水共に技術上より見て敷設可能なりとの見込は確立したり然し乍ら何分滯在短く諸材料を蒐集せしのみし來りたるだけにて未だ組織的に關係方面に依賴し之れを說明し得ざるも上水道は哈爾賓の南部を流れ居る松花江の水を引用し得べく下水は松花江の下流に吐口を見出すを可とせん又工費餘程多額を要すべきも、コレとて未だ

▲數字上の說明 をなし難しとて多く語らず、話頭を時局關係に移せば予等のハルビンに着せしは十三日なりしと記憶するが當日チエツク軍浦鹽より來哈せしとて停車場には聯合國々旗の飜れるもの夥しく市中も大に雜沓し頗る景氣づきゐたり、而してその後三四日を經日本軍先發隊の來着あり市中更に景氣を添へ活況を呈し其の形なりき、ハルビンの警備は支那兵の多數之れに當り警察權は等は折々あるやうに聞けるが別段不穩の狀態はなく予等は日本軍チエツク軍來著の騷ぎを他所に水道の調査に從事するを得たり

▲藤井中將 の一行は予の滯哈中滿洲里方面に赴ける如く十九日予はハルビンを發して南下したるが其後數日にして吾が旅團司令部のハ市新設を見しやう聞きたり、又東清鐵道は沿線各驛に支那兵約一個小隊位宛駐屯し列車停まれば槍劍の傲散閑して何事か起れるやう物々しく警衞し又列車中には支那兵と露兵の警護嚴重なりしが予の奉天に來り聞く所によれば其後列車の警備にも松花江鐵橋その他の警護にも吾が兵士にて固めたりとの事なりき

▲哈爾賓 には朝鮮銀行の紙幣餘程入り込み居れり然し露人間の流通は必ずしも未だ普しと云ひ能はざる如し更に予の出立する前後車票の發行ありとの事なりしも予は遂に之れを見ずして引上げたり ハルビンの日本人は三四千人を算すべく何れも出兵に驚喜し市況は戰勝の狀を呈し居れり尚ほ奉天に來り支那町を見るに支那兵の東閑を夥しく見たり時局關係よりならん

◇埠頭所長更任

滿鐵大連埠頭事務所長柄崎猪太郎氏は十回餘に亘れる埠頭失火の責任を負ひ豫てより辭表提出中なりしが二十六日附を以て依願免職となり後任には滿鐵上海埠頭事務所長村井啓次氏任命され村井氏の後任は同事務所勤務櫻木俊一氏昇任せり（大連特電）

◇南滿洲教育會

第七回南滿洲教育會は三十日開催さる可し（大連特電）

◎總督總監出迎

長谷川總督山縣政務總監は二十八日午後九時十分李王世子殿下の御入京を南大門驛に出迎ふべし

◎殖銀失權株賣却

朝鮮殖産銀行にては今回農工銀行の株主たる權利を失ひたる株式を左記の通り同銀行事務所に於て入札の方法を以て賣却す可しと

一入札は九月三日午前十時とし即時開札す
一賣却株の入札は左記各號の區分に依る
第一號 二十圓拂込株 五十株
第二號 二十圓拂込株 四十九株 十圓拂込株 二株
第三號 第四號 十圓拂込株 百株宛
第五號 十圓拂込 五圓拂込 七十八株 四十四株
第六號より第九に至る 五圓拂込 二百株宛
第十號 五圓拂込株 百二十四株
一開札の上豫定價格に達せざる時は直に再度の入札に附す
一入札保證金は各自入札價格の十分一以上とす

◎爲替資金の調節 極東興業株式會社の企畫 片山鮮銀理事談（下）

▲極東興業會社 中日興業の副總裁倉知鐵吉氏を中心とする極東興業會社の企畫は事實である本會社は北滿並に西伯利亞に於て經濟產業方面の活動を目的とするもので今春倉知氏がハルビンを中心とし東清鐵道沿線の主要地を旅行し同地方に於ける有力な露人との間に企業の了解を得て來たのである、予等もその計畫は或る程度まで關知し、又朝鮮銀行も今後北滿並に西伯利亞の方面に活動を續けて行かねばならぬ使命を帶びてもゐるし、更に支那に於て日支合辦事業が必要な如く露西亞で我が實業家が活動しようとするには日露の合辦事業は必要なのであるから大いに賛意は表してゐる、唯倉知氏等も大骨だけは略組立ててゐるがいつ頃から進出して行くか事業を初めるか等の細目の點は未だ決定するに至らぬやうである、組織は餘程大資本となるべく成立すれば東拓も鮮銀も特殊の關係を有つ事となるであらう

▲爲替資金調節 行き詰まらんとせし外國爲替資金調節に關する會合は最近前後約一週日大藏大臣官邸で開かれ日銀正金その他外國爲替の關係銀行も當局出席し汗を絞つて協議した、予も亦鮮銀の一員としてその席末を汚したが此の問題なども前に述べた（昨紙參照）帝國の財政政策を今後依然積極主義で進めるか消極的退嬰的にするかと云ふ事が根本に於て決定すれば必ずしもその解決は困難でない、消極主義で通ずのなら輸出爲替の如きドシ〳〵昂騰しいかに不利となつても打捨て置いて調節も何もいらない譯であるが、積極的に帝國の財政產業政策を押し進めて行くには爲替資金の調節を圖り爲替銀行の手持＝既に三億餘圓に上り尚日に殖ゑてゐる＝を成るべく輕減して行かねばならぬ其方法は色々あらうが兎に角國庫證劵を發行して民間の資金を引上げ之を爲替銀行の資金に充つる方法を執るのが矢張り此際の良策であつて政府當局も恐らく此の方針に出でらるゝであらうと思ふ、又予は外國爲替調節委員會の組織を提議した一人であるが恐らく予の知る所では此種委員會の組織を近く見るだらうと思ふ、唯今後無限に爲替資金を要するか否かは幾分疑ひを存する、何故ならば吾が對米貿易の如きは本年上半期に既に輸入三億五六千萬圓に達し昨年中の輸入額に匹敵してゐる、今後も米棉の暴騰や交換鐵の輸入あり一方米國の禁入並に輸入制限の方針は吾が對米貿易を如何なる趨勢に導くか俄に判じ難い少くも昨年の如く巨額の輸出超過を見得べしとは云ひ得ぬであらうと信ずる

▲鮮銀增資 鮮銀の倍額增資も二十日の株主總會で決定したが今は當局の認可を俟つのみとなつてゐる、增資認可の申請は本店より總督府に提出されてゐる筈だが此許可には大藏省並に拓殖局も關與を要するらしいから多少の日子は掛るであらう、然し主務省の內諾は得てゐるのであるから別段問題になる事はあるまい、尚ほ予は三月末三週間の豫定で東上し遂に足掛け三月の永き間東京にゐた、然しその間の多忙は非常なもので日曜も全く休業せず木村理事と何か相談があれば夜に時間を作つて話し合ふと云ふ風だつた、それに爲替調節會議などもあつて實際油汗を絞らされた

人事消息

▲村田鎭務課長 二十七日夜釜山より東上へ
▲宮崎慶正氏（水原模範場技師） 二十七日夜入京
▲吉田熊次氏（文學博士） 二十七日夜內地へ
▲李載覺侯 ▲尹澤榮侯 ▲閔泳徽伯 ▲閔丙奭子 ▲趙重應男 王世子御迎への爲め二十七日夜釜山へ
▲朴泳孝侯 ▲李完用伯 ▲李允用男 ▲沐琦男 ▲任善準子 ▲李載崑子 同上二十八日朝水原へ

茶前酒後

◆西伯利及び北滿方面に於ける我軍の行動の展開するや、我軍に對する浮說謠言甚しく、殊に北滿方面の軍隊に對するもの多し。而も何れも、皆不祥事ならざる無きは、洵に奇ッ怪千萬也。吾人の確聞する處に於ては、絕對に流言浮說の如き事實なく、些かの異常無くして、我軍は堂々○○○○に入れり。畢竟するに其等の浮說は、何事か爲にせんとする、獨探若くば過激派の、謠言なるべしと信ぜざるを得ず。

◆吾人の敵は獨逸也、獨逸の對敵行動は、實に端睨すべからざる者あり。彼等の離間中傷を策し、人心を攪亂するは、彼の秘策として、世界の既に周知する處也。而して彼の此の惡辣は、敵人のみならず、其國民にも行はれつゝあり。米國の如きは、殊に屢々其の奸計に惱まされ、且つ惱みつゝあり。されば各交戰國政府は、外は戰場にありて、武力に依て、獨逸軍隊を粉碎し、內は此の取締に最も嚴重を極む。斯る情態にあるが故に、我國民は、其等謠言に惑かず迷はず、最も沈著に、最も愼重に、之を取扱はざるべからず。

◆殊に此際吾人の注意を要すべきは、吾人の隣邦には、常に浮說謠言百出の國あるを忘るべからず。北滿方面に於ける、我軍隊に對する、浮說謠言の多きは、又此等が一因をなすは、敢て疑ひを挾むの餘地なし。謠言は更に、自ら妙となり、奇抜とならんか、我國民は、決して之を輕信すべからず。戰爭の要は勝利にあり、唯上下一致、勝利に向つて努力せば可也。

◆今回の內地騷擾中に、特種民の多きは、研究に値す。彼等は明治四年の今月今日を以て、特に平民の稱を與へられ、一般平民と共に、同樣の取扱ひを受くるに至りしもの也。然れども名稱に於ては、一般平民と同等なれども、概して其質に於て、劣れるは事實也。故に自然生存競爭上に於ても、彼等が劣退せるは、洵に止むを得ざる也。金銀珠玉を嵌むるも、便器は依然便器也、床前の飾裝品にはならず、其質を改めざるべからず。要は特種民の自覺にあり、奮發に存す。

八角鋼、黑鉛用金網、眞鍮物製作
土工用具並ニ建築金物
▲地方御注文は迅速に御便宜相計り可申候 商報御入用の節は御一報次第直に御送附可申上候
京城本町一丁目 直輸入商 佐野彥藏商店 電話一六二三番 振替京城二二〇番

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編 改定第五版 定價一圓 郵稅八錢
朝鮮不動產商業登記申請書式心得
◇不動產登記の部 には土地調查に關聯せる不動產登記法に依る申請書式及官公署の登記に關する囑託書式並に土地建物變更事項に關する證明申請（京城府所定）委任狀印鑑改印屆土地建物圖面及共同擔保目錄等を揭げ加ふるに官通牒例規の要領を以て疑惑を釋明し又◇商業登記の部 には未成年者、妻、支配人及び各會社に關する申請書式等を併せ五十餘件を登載し且一讀同時に了解し得べき程度に之を編纂せり、土地所有者、權利者、會社代書人必備の參考書たり。
發行所 京城太平通り一丁目 電話六〇〇九 振替京城二五七 京城日報代理部
取次所 京城本町一丁目 大阪屋號（振替京城三〇〇番）

金網入硝子 磨板硝子 縞板硝子 雲板硝子 雪子硝子 摺板硝子
御用使先 朝鮮陸軍司令部其他諸官衙廳舍 龍山鐵道倉庫並諸會社銀行倉庫 京城印刷所新築工場 京城本町五丁目
兵庫縣尼崎市 本社 極東硝子株式會社

朝鮮一手販賣店 協同組商業部 京城府南大門通五丁目 電話一四三三番 一七九六番

旅行用具一切
流行洋傘各種 專賣品柳製鞄 東京製鞄各種 防水布マント各種 魔法瓶及中瓶取替
鞄製造販賣
京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四二番

▲新刊▼ 宗家 中尾都山著
尺八譜
俗曲集下編 四十錢
櫻川 二十錢
磯の春 二十錢
長等の春 二十錢
大阪靱町三丁目 前川合名會社

株式會社 朝鮮商業銀行
資本金 壹百萬圓
諸積立金 參十貳萬五千圓
京城南大門通一丁目 電話五五八、四一 振替京城一六八一
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎭泰 支配人 豊田明敬
南大門支店 本町支店 仁川支店 平澤支店 群山支店 利川支店 東大門支店

◇待つ人と待たれる人＝李太王殿下(下)と李王世子殿下(上)

○御旅裝も解かれで直ちに父王殿下御見舞

今宵御歸京の王世子殿下

李太王殿下御見舞のため御歸鮮相成るべき李王世子殿下には豫定の如く二十八日午後九時十分釜山まで出迎へたる閔李王職長官、貴侍從武官、韓昌洙氏其の他の隨員と共に南大門驛に御到着相成るが南大門停車場には李王職員其の他主なる官民有志の出迎へあるべく御着京と同時に直ちに德壽宮咸寧殿に入られ御病中の李太王並にこれより先同殿に御待受けの李王兩殿下に御對面、御見舞の御挨拶を申述べられたるのち石造殿に入らるゝ豫定にして二十九日は午前中咸寧殿に李太王を御見舞あり午後昌德宮に李王並びに總督官邸に長谷川總督を御訪問あるべし

▲釜山御出發　李王世子垠殿下は金武官、權顧、小山兩事務官を隨へられ二十八日朝新羅丸にて菱釜關村驛長の先導にて停車場ホテルに入られ午前十時三十分御出迎への閔長官並に河合庶務課長の御案內にて特別車に御乘車京城へ向はれたり(釜山特電)

▲兩氏御出迎　李王職次官國分氏、長手德榮子爵田中庶務課長の諸氏は王世子御出迎へのため二十八日午後水原に出張せり

○朝鮮から眞先に出た 名譽の重傷者

三木少尉の留守宅を訪ふ

出發の際長男の頭を撫でながら『鐵砲と劍を澤山持つて歸る』と云つたと嚴父は語る

廿三日烏蘇里線ドウホフスコエ附近の戰鬪に於て負傷したる第○○師團○○聯隊步兵少尉三木孝一氏は動員令の降下と共に眞先に我釜山から出征した人である、名譽の負傷の報を得たる記者は本町三丁目の留守宅を訪へば嚴父象次氏は電報を手にし乍ら憮然として語る『孝一は今年二十九歲です、福岡の修猷館卒業後明治四十三年に

☆一年志願　として同地の聯隊に入營し四十四年除隊後大正元年ハル子と結婚し今では長男(六つ)次男(四つ)三男(二つ)の三人の父となりました、嚴父の吉氏が昨年長逝して以來は店は全部孝一が切り回して居ました、處が不圖も時局の進展と共に八月五日に召集され○○聯隊第一大隊第二中隊に編入されました、出發の際は長男の頭を撫で乍ら『鐵砲や劍を澤山持つて歸つて來るよ』と云ひ私には『行つて來ます』と云ふ一言を遺して行きました何でも去る十一日門司を出發して十四日浦鹽に上陸して戰地へ向つたと浦鹽から

☆一度通信　があつた許りで其の後一度も手紙は參りません新聞の模樣では輕傷だとありますが此の電報で見ると重傷だとありますし何方か本當だか判りませんが兎も角留守師團長の公表ですから重傷が眞實だと覺悟して居ます今電報で照會して居ますから夕刻までには詳細な事も判らうかと思つて居ます』と氣丈な事は云つて居るもの、其の心根を察すると記者も思はず首を垂れずには居られなかつた、夫人ハル子は少尉と一つ違ひの二十八歲である

☆悲痛の色　を秘め乍ら少しく面窶れこそあれ愼ましやかに見舞客に對して挨拶して居る三人の子供は父の負傷も知らず只人々の出入に目を圓くしながら遊び戯れて居るなど渺からず人の哀れを誘ふた(釜山)

○廉賣法

改正を提議

五升券復活か　京城救濟會では豫て白米の廉賣を行つてゐるが各廉賣所には毎日多數の購買者が押すな〳〵で詰めかけ場內は頗る混雜する爲め取締の警官も骨が折れるばかりではなく買ふ方でも長時間を要し尙一等米を販賣するのも考へ物だと云ふので二十七日の委員會に左の通り提議し目下研究中なりと云ふ

(一)九月一日以後の廉賣取扱ひは白米小賣商に委託すること
(二)販賣時間は午前十時より午後七時迄とす
(三)廉賣の手數料は一升に就き一錢とし小賣商組合に交付すること
(四)廉賣所の設備は救濟會にてなす
(五)廉賣米の桝耗は救濟會にて補給す
(六)廉賣に關する一切の規定は救濟會にて決議し小賣商組合は之れに異議を言はぬこと
(七)五升券を發行し購買者の來集數を少く仕向くること
(八)石拔米は漸次減少し本月限りにて之れを廢し其の後は外米及び粟をも販賣する
(九)外米は一升十八錢　粟は一升十三錢とす
(十)石拔米は三十錢　普通米は二十六錢に値段を改む
(十一)廉賣に供する數量は唐米二百石と限定し其の他は外米と粟とを取混ぜ三百五十石とす
(十二)廉賣券は町總代に依賴して配布す

◇廉賣　京城救濟會に於ける二十七日迄の廉賣狀況を聞くに總石數二百六十石九斗二升にして他に外國米二十三石二斗の廉賣あり右の內東拓米は石拔きに在りて三十九石二斗五升石不拔きに在りて百八十七石七升を算せり而して發賣初日よりの累計に就て見るに外國米にあらざる分二千四百九十五石五斗三升外國米二百十四石八斗四升にして此の廉賣券發賣部數外米にあらざる分十二萬九千四百三十二枚、外米に在りて一萬七百四十二枚の多數に上れり

◇施米　明治町元漢城病院跡及び龍山錦町京城府出張所の二箇所に於て執行しつゝある赤貧者救助米粟の施與は其の後益々盛況を呈し殊に二十八日よりは其の後警察側の調査により施米券の交付第二回目に當れること、て第一回施米券交付に依り米粟の施與を受くべき細民以外更に第二回目の交付に依つて新に施米を受くべき細民を合して漢城病院跡施米所の如きは空前の混雜を呈し正午頃は係員の手足らず府廳に對して增員方を交渉せる程なりき今二十七日迄の救助狀況を聞くに內地人側に對して施與したるもの米三斗五升粟三斗五升戶數八戶にして人員二十一名朝鮮人側に對しては米三石一斗五升粟三石一斗五升戶數七十四戶にして人員百八十四名を示せり更に累計に就いて見るに內鮮人を合して施米石數二十七石三斗六升施粟石數二十七石三斗六升を算せり此の戶數六百三十二戶人員一千六百八十三名なり

○日章旗の後を追うて

朝鮮銀行西伯利に活躍

內地からも陸續企業家が行く

三菱鑛業部からは技術家を派遣した

朝鮮銀行司事堤喜三氏は二十七日浦鹽に到着し戰局開展を待つて大活動をなす可く目下準備中なる由なるが之に就き同地よりの通信に依れば堤氏は今回の使命は單に視察なりと稱し居れど終始軍の前進に從ひ

▽深く奧地　に入る可く尙今後西伯利に於ける本邦企業家の投資に就き何等かの方法を以て援助を與ふるに至る可しとの事なれば此將來の活躍こそ刮目に値す可し而して朝鮮銀行の企圖は軍票と共に同銀行券の流通を東部西伯利は勿論內地にも及ぼさんとなす由なれば

▽我商權の　前途に裨益する處大なる可く尙浦鹽よりの來客の談に依れば三菱鑛業部よりは部員大峠照雄氏等の技術家一行派遣せられ軍の前進と共に平部に踏査せし各方面の金鑛につき探査を行ふ計畫の由なるが本邦に於ける西伯利經營援助委員會の外西伯利

▲鑛業會社　創設の議もある等我國企業家が出兵と共に澎湃として西伯利に注目を擲ひたる結果此種の系統あり組織ある實業家の日本海を越ゆるもの漸次多く船便毎に多きを加へつゝある模樣なれば[illegible]は欣ぶ可し

○三共製藥會社

工場燒く

損害五十萬圓

二十六日午後九時十五分東京府下北品川宿三共製藥株式會社南工場より發火し之れに隣接せる平家建工場三棟に燃移り更に揮發油エーテル等を貯へし倉庫に飛火し火勢益々猛烈となりしも十時四十分前記工場三棟を全燒倉庫を半燒して鎭火せり損害約五十萬圓の見込原因其他取調べ中(東京特電)

○毒瓦斯原料 爆發

東京行貨車の災難 車掌一名重傷

大阪安治川驛發東京汐留驛行貨物列車は二十八日午前一時半東海道掛川驛を通過せんとする際毒瓦斯原料爆發せし爲め貨車に燃移り車掌一名重傷せり(大阪特電)

○十一名慘死

山崩れの爲

京畿道楊平郡龍門山の溪谷は八月十六日の豪雨にて俄に出水し山嶽崩れして山麓の人家を押し流したる爲め住民十一名の溺死者を出したり同地は山間の一部落とて右の慘事を此の程發見し憲兵出張取調べしに龍門面延壽里李興見(四五)方にては一家潰れとなりて同人を始め一家七名悉く慘死し尙同面[illegible]女里にては尹寬榮、田相玉外一名[illegible]介休里にては柳星稙(四三)慘死し目下屍體の搜索中なりと

◇大金詐取未遂　東洋拓殖會社の社印を僞造し大金を詐取せんとせし某鮮人逮捕されたり但し其筋の命に因り詳細報道の自由を有せず([illegible])

○上等兵二名戰死

北方工兵大隊の所屬

二十七日午後三時留守第十二師團司令部發表＝北方工兵第十二大隊第一中隊上等兵(大正三年徵集)山口縣豐浦郡大師村二百七十六番地　中村常八(二五)　同上大分縣大分郡明治村楮岡五百八番地　竹中政六(二五)　の兩人は二十四日戰死せり(門司特電)

○弱り目に祟り目、誰も泣かされる附添人の非人情

是から警察で嚴重に取締る

許可を受けた者はメタルを下る事になつた賃金は傳染病でも賄付の八十錢

近來市中の病人や產婦の家で『附』の字を表したニッケル製のメタルをぶら下げて働いて居る婦人がある、是は附添人と云つて患者や產婦の介抱に雇はれてゐるのであるが元來此の附添人は看護婦のやうに試驗の上免狀を受けたものではなく尙看護法や醫療などには何等の經驗も知識もない全くの

◇……素人が　多く唯患家の方で任意契約して雇ひ込むので別に取締の規則と云ふものがない爲め自然其の間に忌はしい弊害が生じ易く兎角患者の爲めよりも自分の營利といふことを目的にしてゐる不埒な向きも少くない模樣である、或る附添人の如きは患家に人手の少いことを見込み滅法な賃銀を貪り患家の方で其の要求を容れなければ病人は打ちやつて置いて直に歸つて終ひいやが上にも困らせた上結局不當な賃銀を請求したと云ふ

た、そこで警察でも默つて居れず種々調査の末近來是に制限を加へたものゝ如く、前記のメタル制もその結果らしい、聞く處によると京城では是迄官憲に屆出でもせず附添ひ人の紹介周旋業を營んでゐたものが三名あつた、此の周旋業者は附添ひ人から幾等かの手數料を徵收してゐた、警察では三名を召喚して種々取調べ且つ殊に

◇……悪辣な　附添人を呼び出して嚴重戒告した上、今後附添ひさせて働く希望者は悉く警察署に屆出でさせ前記メタルの交附を受けた者に限り從業するやうに制限した、同時に賃銀の標準も病院に行つて普通患者に附添ふ時には賄ひ患家持ちで六十錢、患者の自宅に入り込む場合は餘分の仕事もあると見て賄附きの七十錢、傳染病患者は病院に行つて居るが之れが賄附きで八十錢と云ふ事に取極め病院での賄料は大抵四五十錢であるから患家の方では結局一人の附添人に一圓以上を支拂ふ事になる譯である、然し從令內職とは言へ大切な患者を看護する附添の職務である故[illegible]

◇……醫師と　聯絡を保ち附添人の需給狀態を視察した上患家にも附添ひ人にも成るべく無理の行かぬ樣に手加減を施してゐるらしい

○英水夫

醉つて亂暴

巡査に打つて蒐る

釜山入港中の英國石油船ドラメルタン號乘組の水夫二名は二十七日午後一時半頃釜山に上陸して飲酒酩酊し通行人に暴行を加へ居るを報に接したる釜山署の巡査二名が取鎭めの爲め駈付けたる處却つて巡査二名に打て蒐り格鬪の末取押へられしが巡査二名共負傷し醉漢も擦過傷を負ひたり醉漢は目下留置取調中(釜山電報)

○海軍採炭所

工夫の亂暴

活動を見て立腹

福岡縣粕屋郡志免村海軍採炭所工夫中三千四百名は職工慰安の活動寫眞を映寫せしに米高に活動寫眞などゝは怪しからずと德永主計總監官舍其他を破壞し放火する等の暴行を演ぜしも數十名の兵士及び福岡憲兵隊等により二十七日朝鎭壓せり(福岡電報)

○無賴漢處罰

京城北米倉町、笠井町等の朝鮮人娼家に居候して常に遊興客に喧嘩を吹きかけ相手より仲直り酒を強請し或は群衆の中に割込みて彌次に盜附すへし馬さなら事あれかしと市中を破落き廻り亂暴を働く者近來漸次殖えたるより本町警察署にては二十五日夜是等の不逞の鮮人十二名を逮捕し嚴重懲戒の上各拘留二十五日の處分に附したり

緩衝機

(投書歡迎)

誠實なる同情

不言實行生

◆私は此間の日曜日に新龍山小學校に廉賣米を買ひに出掛けました。朝の七時から(未だ校門の開かぬ內)午後の二時まで然も暑い天日に晒されて赤米が堅々としてゐる一等米を二升代金を拂つて來ました。が私が女子供や鮮人諸氏の中に行列をして居る間に代金を落した子供や陽熱の爲め病氣を發した女、金を拂つて買ふのだぞと怒つて歸つた男もあつた又は汗を流して泣く背中の兒に困つて居る人其他見るも氣の毒な有樣を眼前に見た

◆僕は其渦卷の中に立つてゐるから思つた。日曜日を休み得る中流の僕等ですら尙且つ此の勞を忍ばねば[illegible]安價な生活は出來ざるか[illegible]中流階級かくの如し。ましてや一日休めば一日を生くることを得ざる日給者に於いてをやである。

◆僕は此處に致つて一種の波動が胸を突いた。否々僕許りではない心ある者は皆そう思ふのだ。僕は熱い淚が出る。理事の諸氏よ。諸氏は毎日九箇所に興ることの悲劇を如何に見、如何に感ずるや。安い米を買ふにはこれ位の苦勞は忍耐せよと言ふかそれか嫌なら高い米を喰へと云ふか……

◆京城官民の有力者諸氏よ何卒愛せよ國家を愛するが爲めに自己を愛するが如く京城の內鮮人に誠實なる同情を有たれんことを望む

外米の巡賣

元町生

◆外米を買はんとて米屋に行きたれど無いと斷る。此の際外米の消費を盛んにすることが最も緊要なりと思はるゝが當地のやうに外米を得るに困難では其消費を盛んにすることは望むべからず

◆故に販賣の方で進んで外米の巡賣を實行し上中の家庭等でも義務として買入れさせ朝鮮米に混用して食する樣にしたら下層の方でも自ら食するやうになると考へらる如斯にして自然と米價の調節も出來ることゝ考へらる

◆尙京城日報で仁川より盛んに移出した米商人が居ることを承知したが利見れ生命の商人なりとて現下の困難を見ながら自腹を肥やすに汲々たるは[illegible]

金川郡廳へ

大困り生

◆今般貧民救濟の目的にて三井合名會社より三萬圓の寄附をなして與れたのは誠に有難い次第ではあります。夫れで金郊には一千圓が當る相でありますが如何なる割合を以つて如何なる者に施す方針でありますか

◆聞く處に依ると等級を別けて何でも四等以下の者に一升に付十錢宛の補助をするとの事で其の例に依れば稅金は當然に出し戶別割とか道路の寄附金も出し其れで一家族の生活が營まれぬ者は大損ですね

◆尤も拙者は宿屋に泊つて居るから戶別割を出すのは[illegible]米は[illegible]一人前に何程當りますか人數に比例すると僕は大困りです

◇各地の白米

▲廿八日小賣値段電報＝▲牙山　一等白米一升四十一錢[illegible]　▲日同値正米は取用價格發表の爲め相場立たず　▲馬山　一等白米四十二錢[illegible]　▲上向　▲清州　一等白米三十四錢二等三十三錢暫時据置わり

◎京義線の故障

二十七日降雨の爲め同日午後十二時三十分京義線路下官川間(龍山起點二百五十七哩六十四鎖)築堤約三十八尺崩壞し一時列車の運轉不可能となりたるも同日午後九時十分開通したるが之れが爲め前九時五十分南大門驛發奉天直行列車は定州驛に於て三時間餘の延着を見るに至れり

下居

京城旭町一丁目一三〇　加藤房藏

◎南山町の小火

京城南山町三丁目十三番地[illegible]方にては二十八日朝出發して內地に歸るべき親戚の者泊り込み二十七日夜深更迄出發準備を爲し蠟燭を點じたる儘表二階の室に就寢したるに二十八日午前一時二十五分頃火が蚊帳に燃え移りて發火するに至り南山町の消防隊が駈けつけて間もなく消し止めたるが蚊帳六枚と疊を燒きたるのみで損害は約五十圓位なりと

◎第二回圖案募集

サツポロビール京城出張所にては第二回懸賞廣告圖案の募集を爲す由なるが應募者は凡て在鮮住者に限り締切は九月二十日にて賞金賞者、その他は大體前回の如くなるが詳細の募集規定は二十七日の本紙[illegible]にあり應募原稿は旭町一丁目大日本麥酒株式會社[illegible]宛

◎連絡船上陸客　二十[illegible]

[illegible]

天氣　小雨　(二十八日午後六時より二十九日午後六時迄)

內科　小兒科　京城黃金町三丁目赤門通(電車停留所前)　本田醫院　附屬　京城肛門病痔疾療院　院長　本田建義　入院隨意　注射根治療法解說書入用の方郵券三錢要　電話二四四二番　振替京城三八番

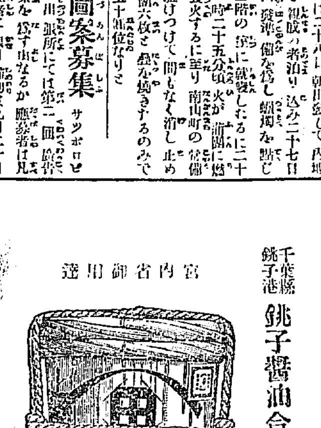
大日本優等清酒　ハクツル　品質純良　衛生無害

攝津灘御影町　醸造元　嘉納合名會社　京城本町二丁目廿三番地　發賣元　前田酒店　電話一三二七番　振替口座四二五番

內科　胃腸病科　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話二二二九番

冬帽子　東京製帽子卸專門　新形冬物全部荷揃　多少に不拘御引立の程願上候　東京市日本橋區馬喰町四丁目　本店　山脇製帽所　京城府漢江通八番地電話一三一番　近江屋　山脇帽子問屋

宮內省御用達



ヒゲタ醬油　千葉縣銚子港　銚子醬油合資會社釀造　代理店　京城明治町二丁目　櫻正宗發賣元　山邑京城支店　電話長八四九番　振替口座京城七五番

風流　[illegible]　京城本町二(有樂館東横)　電話一三八三番

資本金參百萬圓　明治三十八年設立　當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候　京城府南大門通壹丁目十四番地　株式會社　漢城銀行　頭取　男爵　李允用　專務取締役　韓相龍　支配人　石鎭衡　支店　水原、平壤、大田、開城、南大門　出張所　釜山鍾路、東幕　電話長六〇二番

內科　小兒科　入院隨意　京城旭町一丁目(電話九六二番)　小林醫院　院長　醫學士　小林千[illegible]　副院長　醫學士　戶川武[illegible]　永登浦分院長　醫師　久保廣次

◎兵馬の威力も無論必要であるが 經濟的方面の注意を閑却せば百年の悔を貽すに至らん

日本の軍用手票は
既に北滿各市場に於て使行され長春市場の如きも夥々見る事が出來る様になつた同軍票は當初に於て發行せし如く支那人間に於る信用は日本各金券と何等選ぶ所ない迄に流通される此形勢を以て推せば必ず大成功である事は疑ひないこれ即ち支那が

金銀紙幣の不統一
の結果紙幣に計算が機敏であり且其發行す根本が信用ありさへすれば國の如何を論ぜず其の性質が金であらうと銀であらうとそんな事に頓著なく直ちに其の市場に於る價を以て自由自在に授受流通させれ一方不統一により弊害が伴なふ代りに或は却て至極都合のよい場合もある殊に今度の軍票流通區域たる一部哈爾賓附近の如きは日支及び日露貿易が既に直接にドシ〳〵行はれて居る市場であるから

日本の金券の價値
なるものを認めて何等支障なく通用出來るのは當然である試みに支那自國紙幣と比較して見よ奉天省發行紙幣の如き其の流通區域奉天省にのみ限られ他省流通すと雖も必ず何分の打歩を加算せされば授受出來ず吉黑兩省と雖も亦然り否如斯邊陬のみに止らず北京に於る國庫即ち中國銀行及び中央交通銀行たる交通銀行紙幣を以てすら

到る處相場不確定
を見ざうしても硬貨でなければ一般に流通を見る事は出來ぬ其の硬貨と雖も發行局所の差異を免れぬ程それ程硬貨も貨幣の圖柄であるから政府に非ずと雖も根底確固たる或者が手形或は紙幣を發行すれば何等滯りなく通用する事は珍らしくない前述の如く流通上不利なるのみならず其の根本たる準備金の如きも甚だ貧弱であれば信用から論じても實に不安なものである然るに官力に依り或は術數により今日の如く

奔騰的の最高價格
を以て立派に通用して居る而も兌換停止以後此等紙幣は絶對に硬貨と兌換出來ぬ不換紙幣である、之に反し日本軍票の性質は如何、純然たる日本政府の發行に係り而も制限外兌換紙幣である、兩々相比較して如何に疑ひ深い支那人と雖も軍票を疑ふ餘地はあるまい、殊に軍票の受けのよいのは日獨戰爭當時の

日本の銀券軍票の
受けのよかつた事例を重ね回收期に於て支那人間に可當利益を與へたる事等有利の點多きを以て常に軍票再用を要求せし程なれば好んで授受を行ひ些も澁滯の觀なきは日本に取つて喜ぶべき現象と云はねばならぬ、併し今日迄取引關係の薄い奥地に至つては或は何分澁滯する事は免れまい、相當支那商人の入込んで居る事故次第軍票の價値なるものは認め得られるに至らないが完全流通の域に達するまで相當至難の仕事であらうと思ふ

露國の留紙暴落
の損害を蒙つて居る北滿沿線は紙幣ていふ物に必ず危懼と不安とを抱いて居る事は云ふまでもない、其處に向つて國力こそ進へ同じ紙幣を使行せしめんとするのであるから初に於ては或は哈爾賓附近よりも何分の差違があると共に或使の方が流通し易いかも知れぬ、然し其眞價は漸次輝然として識別されるに違ひない

軍票の眞價が完全
に識別される迄が尤も憂慮すべき時代である、如何となれば支那國民性は雷同し易い民である若し一朝不逞の徒ありて日本軍票の價値に對し惡評を試みんか其所謂が何分信ずべき點あれば常識に乏しき彼等は直ちに誤信迷信以て其使行に對し支障を遂すやも保し難い、何分たりとも支障が出來ればそれが即ち忽ち軍票相場に

不安定的の大影響
を及ぼす事は免れぬ次第である、此等に對しては已に經濟的當事者が相當の對應策を講じて居る事と信ずるが併し若何者か、此迂愚味の徒を唆かして防害を加へる事なき様尤も愼重の注意を要する事と信ずる已に時日を經過し

確立的なる信用
の根柢を深ふする日に達せば假令何者が如何なる策を弄するとも何等痛痒を感ぜぬ次第であるが此危險時代の防禦と云ふ事は一日も忽諸に付すべからざる焦眉の急務である、兵馬を西伯利亞の原野に走らせて武力を揮ふも必要であるが方策を各市場に廻らし經濟的大活躍を試むるも亦國家の經綸であらうと信ずる（奉天）

◇京城は臍の都 さかや申候由
川上女子高等師範教諭の朝鮮巡遊所感

去る十九日朝鮮より歸還したる東京女子高等師範學校教授川上瀧男氏は在鮮中の所感をなせて曰く

小生數日間朝鮮を旅行致し候も素通りと申せば眞の素通りにて汽車の中の出來事か又は停車場から宿屋迄の出來事を一寸見たばかりの事故の感想も無之候只二三思ひ付きのまゝを申せば左の如くに候其の一は彼の地の事情を少しにても知らん爲の旅行者ならば

◎豫め朝鮮語を學修
し置く必要の大なるを感じ申候小生は當初朝鮮素通りの豫定なりし爲イロハのイの字も學ばずに參り候が同旅行中八時間程三等客車に在りて彼の地の人々と行動を共に致し申候普通學校の生徒と覺しき者に内地語にて話し掛候に數語にして口を緘し申候若し小生にして少しく朝鮮語を

◎解し得たらんには
面白き得物もありたらんにと大いに殘念に感じ申候在朝鮮の小生の友人等が朝鮮語を解せずとも朝鮮は旅行し得るといふ事を豫て申居候も人間らしく旅行するには朝鮮語を多少承知いたさずてはならぬ事を切に感じ申候近時彼の地に於ても鮮人教育に携はる内地人には朝鮮語を學修せしめ相當の試驗をするとかの事に候が

◎至極尤の事と存じ
候單なる旅行者ですら鮮語の必要を感じ候折から教育者にして鮮語の解せられぬ者之有候ひては徹底したる教育は行はれ得ざる儀かと感ぜられ將來の鮮人教育上甚だ切なる事と存じ候尚一つ申し上げ候は小生彼の地旅行前は彼の地の衣服は至極結構なるものと感じ居りたる次第に候然るに彼の地に至り全く豫想に反し

◎自分の見聞の狹き
に驚き入り申候某氏は京城は臍の都さかや申し候由なるが中等以下の者の衣服としては男ならば『へソ』女ならば乳房と背中を露はし居り候は如何にも不思議に感じ候本邦衣服改良の參考にも相成かと心中に

◎待設け居たる小生
には全く意外に感じ申し候是につけて服裝改良問題などボツ〳〵世間に之有樣に候が隨分愼重なる調査を要する事と感じ申候（東京）

燕京近事
◇支那米の供給 提出したる公文と其の内容

日本公使館より前に支那政府に向つて口頭を以て江蘇省に堆積せる米穀を或る制限の下に日本に供給して救助せんことを希望せるが日本公使館は右に關し去る二十二日公文を外交部に提出せり内容如左

日本に於ける米穀の缺乏は米價の騰貴を來し目下の窮民は痛苦に堪へず（中略）中國政府は此の際隣邦の誼に於て江蘇省に於る米穀を以て或る程度を限りて之れを日本に供給し以て日本の缺乏を救はんか日本國民の感謝は勿論將來日支兩國の國交に少からざる

◎東省鑛山問題の 危機去る
◇結局圓滿に解決せん◇

最近支那政府は東三省に於ける鐵鑛に對し全部官有に歸すべき旨布示せり（鞍山、本溪湖等は除く）而も鐵鑛のみに止らず對日鑛業閉鎖主義を嚴守し

滿蒙鑛業界に壓迫
を加へつゝあるの觀なきに能はずこに依り日支當業者は何れも徐々として悲觀の域に陥れる次第なるが支那政府が日本に對し鑛山閉鎖主義を採るに到れるは幾多の事情ありこ雖も東省開發を企圖する今日に當り尤も有利なる鑛山の如きを閉鎖するは日支兩國の爲め甚だ不經濟極まる行動なれば

奉天の赤塚總領事
は之が改善を計るべく滿般當局と交涉を重ねたり聞く處に依れば同閉鎖主義を滿蒙に於て特に激烈を極むるは前年日支交涉に依る滿蒙條約の鑛山に關する文明に對し双方意志の誤解なるに起因せるが如し最近

世界的の鐵價暴騰
を來し而も需要に供ふ供給を得なければ更に奔騰すべきは免れず若し滿蒙鑛を開放し以て小鑛と雖も之が採收に自由を與へば莫大の利益あるべきは確實にして滿蒙鐵鑛の價値は一躍增大すべきを

消極的の支那政府
は當業者間の競爭が想像以上の猛烈を極め隨つて諸種の弊害を醸成せんを恐れ大に警戒心を高めたると共に累を既設備鑛山に迄及ぼさば由々敷問題なりとし一時閉鎖的態度を取るを餘儀なくされたりと言ふにあるが如し、併し達眼を以てせば支那が如何に警戒心を發揮するも目下の最も

窮乏せる財政狀態
を以てしては到底充分なる資金を投じて洽ねく官有鑛山全部を完全に開採する事不可能なるは火を見るよりも明かにして或意味より解釋すれば今日の鑛山壓迫は

純然排日行動發露
とも見る事を得べし右の如くんば日支國交上にも危險を及ぼし遂には奉省最大問題となるべきを恐れ赤塚總領事は之が解決の爲め過日北京に赴き當局と直接交涉をなしたる趣きなるが支那政府鎖鑛の目的は日支條約上合辦を締結せる大鑛山を目標とするものにして其他の小鑛山は別に八ヶ間敷く論議するに非ざるのみならず其の眞意に至りては例の愛國心を標榜し

各鑛山の實權保留
よりも先づ其の名を自國に存すべきに苦心し寧ろ開採して實利を進せんとする如き企業は寧ろ歡迎せんとし若し資金を外國に要し民營業として開放の許可を與へなば其の實權は全て本國に歸し一朝ある際し

對外國の借款擔保
として提供する事能はざるを杞憂するのにして其間除りに深意義のあるには非ざるが如し、之を諒解し極めて圓滿なる解決を遂ぐべき手順に至れりと云ふ交涉の内容に就きては未だ知るに由なきも或は現鑛業條例なるものを承認し其代り支那は奉省鐵鑛の開放を行ふと同時に

鑛山の採掘出願者
は必ず奉天總領事の手を經由するを要し右に對しては支那政府は必ず許可を與ふる事に決定したるものなるべく將來當業者間の弊害は一切拔除され且つ滿蒙鑛山開發の一促進を見るを得べし（奉天）

◎經濟鐵道たる 平元線（前承）
◇平壤商業會議所調査◇
將來に對する見込

敍述は經濟の方面より見たる調査としては尚不備を免れざるも其目的は多年の懸案たる平元鐵道に對する施設實現の機運を促進し其重要なる交通線たることを周知せしむるにみるを以て略上一讀を悉くしたるものなり今最後に左の卑見を加ふべし

一、平元線の運輸交通並に軍事に より頗る緊要なるは夙に識者の認むる所なるも京元線の敷設並に成るが爲却もすれば閑却せられんとする隆線の延長、吉會線問題等あるが感なきにあらざるも吉會線との比較の如きは自から其使命を異にし寧日本並に滿蒙方面との經濟的關係を進むる程益々平元鐵道敷設の必要を痛感するものあり、殊に西伯利亞方面の風雲急なるの時平壤に於る兵器製造所の能力を發揮し浦鹽を踏んで同工廠を設置したる目的並に兵器の獨立と自給の將來に鑑み極東の形勢に察し單に經濟線として絶大なる價値を有する以外帝國の軍事國防上一日も忽諸に附すべからざるものあるを以て此際益々朝野識者の注意を喚起し輿論の高潮を圖る爲め同線敷設の要緊なる理由を周知せしめ當局を刺戟して可及的速かに建設豫算を計上せしむべく適當なる方策を講ずるの必要あること

二、假令明年度の豫算に計上する能はざるも當局の内意決定せば速かに之を發表又は内示の方法を執り鐵道を培養すべき輕便鐵道或は連絡道路の改修を始め同鐵道に依り開發を促進せらるべき一般產業上の施設に資すること

三、平元鐵道にして愈々現時湖里線を延長するものとせば現大同江信號所附近の分岐點は現在の規模にては操車上萬全を期し難きを以て同所に相當の設備を見るべきは勿論ならんが對岸船橋里附近には

◎滯貨別原因

滿鐵の調査に依れば八月廿一日現在南滿線特產物の滯貨數量は七萬五千五百二十一噸にして頗る減少を見たる次第なるも尚は例年に比し著しく閑散期たるべき今日に於て滯貨を見るは特產物の出廻り甚だ增加したるに因るものなるが最近一日平均引受け貨物は南滿線の五十車内外を筆頭とし其他吉長四鄭線及び各驛引受け合計七十車内外にして發送高約百六十輛内外なれば九月中旬迄には前年度特產物引受けを全部皆濟し了すべき模樣なり然して運般の時期問題は何等特產物の輸送に影響を受けざりしかど過日來の降雨に際し列車の運轉を中止したるは約三萬餘噸の滯貨を增加したる譯なりと現時最も滯貨の多きは長春驛の五萬五千二百噸を最高なりと云ふ（奉天）

◎纏りたる買註文

群山に於て近〇〇米一萬七千石買收の註文入りたるも目下在荷薄なると期間受け渡しを要するが爲めに註文全數量を引受くる能はず〇〇當局者は去る二十三日來群滯在し當地官憲の助力を得て群山米穀商組合と折衝を重ね爲めに米穀商組合は連日組合員協商議の結果有らゆる非常手段を執り〇〇米一萬石供給を引受くるに決したるも群山に於ける精米石拔能力は到底短時日間全量の調製不能なるを以て右數量の内約半數は玄米の儘引渡さるべく而して受渡期限は九月五日限りなりと

◎三菱輕鐵延長

平南三菱鐵鑛株式會社專用の平安南道大同郡石平面金泉里間既設輕便鐵道三哩七十四鎖を龍淵面内順面を通過し平南順川郡平原面江岸里に至る輕便鐵道一哩十六鎖六十節の延長は愈々八月二十日附を以て其筋の許可を受けたり

◎露教育視察團

東清鐵道の南滿教育視察團一行は廿三日當地を通過せるが廿四日大連著二十五日は市中並に見學會の一部を視察し二十六日旅順に到り二十七日大連に於ける殘部の視察を爲し二十八日午前八時發二十九日奉天視察同夜奉天發長春を視察し下道驛に歸哈す（奉天）

◎繭共同販賣

本年秋蠶繭共同販賣は四五日前より平安南道順川、江東、成川各郡内の各所に於て行はれ居れるが順川郡にては順川、舍人、新倉、慈山の各面より約三百石を廿五日より九月五日まで販賣することとなり購入者は朝鮮繭絲商行出張所にして江東郡江東面にては約二百六十石を去十九日より九月十七日までの間に於て平壤山手町小口源一が購入することとなり成川郡成川、通仙の兩面にては約百五十石を九月二日より同十日まで販賣の豫定なるが買入者は目下道廳に於て選定中なりと（平壤）

◎連絡船から投身

廿四日下關を發し二十五日朝釜山入港の連絡船高麗丸の二等客廣島縣吳市新泉場二五野田初藏（三〇）なる者の姿見えず多分投身せしものならんと遺留品としては手提籠の中へ現金一圓五十錢と木綿浴衣二枚鳥打帽子郵便切手葉書及び雜誌を入れたるもの一個ありしのみ（釜山）

◎新鐵鑛發見 釜山三浦居住

内地人某は黃州郡長川里なる生鐵業株式會社所有鞍山附近に於て約四十三萬坪の大鐵鑛を發見し目下其筋に出願中なり

米問題と地方

◇釜山と救濟

釜山臨時救濟會第一回賣出しは二十六日午前九時より牧之島消防詰所に於て窮困者の爲めに外國米の販賣を開始したるが何分一升十五錢と云ふ破格の値段なるを以て白衣の鮮人群集十重二十重に取圍み瞬く間に豫定の數量を賣盡したるが二十七日は小時刻より草梁第三尋常校に於て賣出す由なり又釜山臨時救濟義捐金は其の後好成績にて二十六日正午迄の累計は二萬八千二百三十八圓四を示せり

◇各署の戒告

◇群山 群山警察署長渡邊警視は府内重なる白米小賣商店主を群山署に招致し白米小賣りに關する戒告を與へたり（群山）

◇清州 米價騰貴に際し各地の奸商の除擧を見るに及び豫め之れが警告を與ふべく米商人を召集し野下署長より訓示ありたり（清州）

◎妙な木 壁へ挿すと芽
平南道廳 中島德二郎氏談

四月頃の事であつたが僕が外人を招待して茶話會を開いた時に遊びに僕の盆栽好きな事を知つてゐるものだからウエルボンと云ふ外人が手土產として一枚の木の葉を持つて來て『之は布哇に產するエイアープラントと云ふ木の葉であるが此葉を壁に挿すと芽が出る』と云ふて與た、それは恰度長さ四寸位巾二寸位の厚い葉で稍王蘭の葉の樣であつた、僕は夫れを貰つて半信半疑であつたが云ふがまゝに壁に挿して置いた處が四五日經つと

果して細い根が
葉の周圍に大抵五分位き位るに出て來たので愈々面白くなつて來て之れは不思議と思つてそれを大事に鉢の中へ砂と土と混ぜたつたのを入れて輕く埋て置くと又

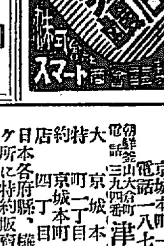
四五日して愈々芽
が生び出して來たには實に驚かずには居られなかつた、その芽が三

◎油の代りに 石炭の粉（續）
燃料としての粉炭
米國某新聞所載 ハリソン氏談

今一の燃料としての見地より粉炭の利益を論ずれば爐室に於て粉炭を使用するに至りてより作業費は非常に輕減せられたり、即ち一人の力にて容易に六或は夫れ以上の爐を操縱することを得るに至れり但し位置の如何によるは言を俟たざる處なるも灰分を除去する所の勞役も亦極めて僅少なり然れども他の一方に於ては石炭を粉碎する爲に勞力を使用せざるべからず這は爐室に於いて得る處の利益と比例する問題なれば敢て論ずるに足らず而も粉炭は他の石炭に比し完全に燃燒せらるゝを以て十分に燃費を避け得らるゝは燃燒室と火焰の通路が適當に工夫せらるれば煙突の基底に裝置せられたる堆溜室に集合する灰分は極めて少量なるに於ても其經濟的なるを立證し得べし

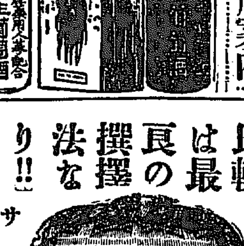
酒精、壺詰入燒酎 西貢米、碎米 大豆 大京 砂糖、麥粉 雜貨食料品
釜山埋立新町 龍榮商會 電話長一〇八番

乾物 糖粉 煙草 雜貨 卸問屋
釜山 西山商店 電話七〇 振替京城二二〇四番



内地材各種 鴨綠江原木卸商
平野材木店 釜山桑町 出張所

（月刊發行）洋酒 罐詰 糖粉
釜山 あづま商店 電話三五九番 振替京城三九番



釜山著名商店案内

夜具地 ▲裏地、綿▼ ○荷著揃○
龍山元町電話四二八 こまや 植西呉服店

金剛山
京城本町電話二十七四七五番 龜屋

◎◎朝鮮名物◎◎

大正七年八月二十二日 朴文承

診察時間 自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

朝鮮總督府編纂「最新刊」
東部 西伯利地圖
定價金參拾五錢 郵稅二錢
右部數僅少品切れとなるの恐れあり至急御注文被下度候
發賣元 京城太平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇 振替京城三〇〇九番

電燈を暗くする器具 金五拾錢也
京城朝鮮銀行横 ヒオキ商會 電長一二貳番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話 園八四一 九四五 振替京城五七番

痔疾專門
京城久枝肛門病院
入院隨意 京城明治町一丁目本町より入る中程（電話二〇一番）

滿天下の賞讃を博したる人蔘エキス
定價 七日分金五十錢 十四日分金壹圓 二十日分金貳圓 四十七日分金參圓 八十五日分金五圓 百八十五日分金拾圓

陸軍御用 元祖

朝鮮高麗人蔘（白蔘紅蔘）直取引貿易商 京城本町一丁目
人蔘エキス本舗 津村兄弟商會 本店 電話一四八〇番 振替京城三五二一番 取引百三十銀行
京城本町一丁目 電話一八七〇番 津村兄弟商會 大邱支店
京城本町二丁目 山岸天佑堂
京城本町四丁目 木村藥舖
北島藥舖 其他朝鮮全道四百十ケ所
大特約店 日本各府縣、樺太、北海道、臺灣、支那、滿洲、三百廿ケ所に特約販賣致させ居候間御用命願上候萬一品切の節は本店に御注文被下候はゞ直ちに送達申上候
品質優良藥効の顯著なる人蔘エキス

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千參百參拾萬圓
總預金 貳億七千萬圓
株式會社 第一銀行京城支店 京城本町二丁目 電話二一二三 二二一七番 振替貯金京城一〇六一番
頭取 佐々木勇之助 支配人 西村道彦

商況

東京期米特電

未着

兵庫期米特電

二十八日後場 寄付 二十七圓六十錢

大阪株式特電

銘柄	拂込額	廿七日後場
鐘紡	五〇.〇〇	…
宇治川水	五〇.〇〇	…
京阪電鐵	五〇.〇〇	…
東洋紡績	五〇.〇〇	一三八.一〇
合同紡績	五〇.〇〇	…
鐘淵紡績	五〇.〇〇	一五三.一〇
商上新株	四〇.〇〇	一四一.一〇
東洋製糖	五〇.〇〇	…
大阪商船	五〇.〇〇	一七七.八〇
日本郵船	五〇.〇〇	二八八.四〇
同上新株	五〇.〇〇	…
堂島米穀	五〇.〇〇	一三〇.〇〇
東京株式	三五.〇〇	一七〇.五〇
大阪株式	五〇.〇〇	一七六.〇〇

大阪三品特電

二十七日後場

八月限	四一.〇〇
九月限	……
十月限	……
十一月限	……
十二月限	……
一月限	四二.四〇

大阪期米特電

二十七日後場 寄付 二十八圓丁度　三節 二十七圓九十八錢　止め 二十八圓〆六錢
二十八日前場 寄付 二十八圓十一錢

下關期米特電

停止

雜報

●**綿布跳返す** 綿布は昨大阪三銘先物十四圓十五錢迄に跳ね返し更に二十五錢高と報じたるを以て當市中綿布市況も氣配又々高まれり、一部三エー一票は再び六十圓を突破し**三百六十五圓**、十六磅物三百四十圓に上り細布は一八個三十錢に堅く晒金巾も本日高き品渡し押つて徐々引締め模様なり

●**三品順鞘に復す** 二十七日前場の大阪三品は當限四百十三圓六十錢先限十二圓十錢前日後場止めより當五圓先は十二圓四十錢と前場より**先限九圓四十錢方昂騰**し先は十二圓四十錢と前甘場に比し二圓六七錢安なり此處に稍々順鞘を見るに至れり

●**正米下押す** 正米は昨後場に至り精米筋所謂買進みありしも一用價格の發表により**人氣が頗挫**け折柄何れも附値安く賣人は依然安値には應ぜずと雖も過日來に比し氣勢漸く衰へ來り**値段の折合**は採め得ず手合は何れも行はれ出米値の**標準値に比して三四十錢**方下値を調まりし適用が如何なる程度に於て行はるゝか各自異なりたる意見多きにより粹米準備のある手筋は此際何も**買控へ見送り**の方針を取り居れり從つて市況は氣迷ひから追々分村口さなりつゝあり**賣人**は過般來の高値を思ひ出しも一方に收用令適用後の成行き如何と本懸念の避けに**又氣迷ひの狀態**にて今朝は餘り商内出來ず本標準米三十四圓八十五錢

●**白米値上取消** 白米は原料高の後を受け精米組合協議の結果昨夕の如く各等一圓方の値上げを爲す事に決定せしが今回の收用價格の發表に依り地方既に押正米に影響して大勢軟化の傾きある場合採算上の如何は精米所が之を忍びて一時値上げ合はず方穩當ならんとの説出でたれば後に至り組合の前決議を取消し當分**現狀を維持**して成行を傍觀する事となれり

●**白は氣弱** 鮮白は環境の影響にて賣行きさしたる小賣屋側の仕入値は賣値さの差額なきを以つて一般賣控の方針なり**廢業者も現はれ**中には既に廢業せるものもありて朝鮮内地物も共に安く賣らるゝ物もなく原料氣安さ伴つて軟弱なり見當相場は上二十七圓五十錢中三十六圓五十錢下三十五圓二十錢見當へなり

●**大麥は持合** 大麥は引續き買進みありて持合ひ居り可成りに多き爲め其後は落付模樣にて相場は上物十二圓五六十錢見當を持合ひ居れり

●**燈油頗る強硬** 本邦燈火油の大供給國たる米國は歐洲方面への供給激増せる上に戰局の展開とともなひ本國原油價益々昂騰し且つ運賃の騰貴等にて輸入愈々困難を告ぐるに至りス社從來のストツクも漸々消化し了り七月末内外四社が協定値上を爲すも當時日石が東京市中に於て賣止めを爲す爲め當分の間の賣止めせざる際ス社も關西筋に於て因ストツクの關係にあらずやと思はしむる節なきにあらず又魚油も到底歩々しき輸入は此際望み得ざるのみならず内地油に向つて發せらるゝの外なきに内地油も全產油高の減少せる上に東山原油始め各油原油價格著しく奔騰せる爲め揮發油共他有利なる臨油の製油せる結果燈油産額著しく減少し從つて市場在荷手荷を告げ目先秋季の大需要を見越して各手持筋の手持も僅少を見るに反し一般需要の傾向あれば市價は今後昂騰の一途を辿る外なからんか

●**分蜜更に昂騰** 米國協約に因る瓜哇の對米輸出は其後引續行はれ最近更に二隻の積出しありたるが一方販價の公定價格は依然トラスト側にて比較的嚴重に取引され居るのみ本邦市場は之れか影響に益々好況を呈し今又**分蜜十四圓八十錢**を唱へ底堅く持合ひつゝあるが**目先一段の高値を豫想**され居れり

●**燐寸は暴騰** 燐寸は數年來の輸出不況を示せる本邦マツチ市場は南方の支那市場に亘り二ヶ月之が反動恢復に向ひつゝありし最近北滿方面の注文殺到し在荷一齊に暴騰し之が爲め他の一掃因は急に同時に約一割方は安全十五錢方値上げ一割以上に漸々之に接近し居れり

●**味噌醬油强硬** 過日原料高を理由として一樽付一圓方の値上を行ひたる味噌は其後原料高見越しに益々氣強く一部は更に**値上げ**し込み居れば之れは一段の氣勢を示せるの準備もなして急激に仕込み増さんとしつゝある**又醬油**も目前一の成行に依り又一圓も値上げと噂あり其の筋は目下値上げの際にあらず

●**漬物類先高** 漬物は生椿相當の作柄に古品の殘荷は左程ないに持ちあらざりしも最近の新物出廻りも漸次**高値、僅**に下落し昨今前見ず今日迄大五十錢を上廻り**上品は缺乏**しつゝあり新物は上品の如く**先高見越**しにて仕込まれたるもの持ちも居れば内地物の高値に捕はれ特に一般に**先高見越**しつゝあり

●**空罎昂騰す** 空罎は引續き需要旺盛なるが中にも醬油の輸出急増の爲め**需要大**に起り昨今の四斗樽は一個八十九錢にて更に**釣上**げ決定するに至らば一圓八九十錢程見當にて商内盛なりと賣買されつゝあり

●**各地商況**

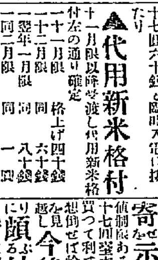
◎木浦米況（二十六日） 玄米（強硬）大阪及び釜山よりの買進み漸く盛んにて買附注文頗る多く積出しも盛んにて強硬なる成行となり三等玄米三十五圓五十錢にて前日比三十餘錢高とす大豆は殆ど出廻り無く賣買無し

◎太邱米況（二十七日） 玄米 昨日一圓高の買註文殺到し今一段の奇騰を來せるも朝鮮各地の收用價格發表に依り手合漸く用心の見送りとなり一同強硬ながら前場二十三圓一、二十錢以上の大豆は鮮米大手筋の賣込に依り前場比十錢程續落し見當相場無く尚ほ手合ひも鮮米の夫數見當の爲め手合に至らずも相場は依然の付試みあり

◎下關相場 ▲朝鮮米は依然强硬 其後又朝鮮米は依然强硬なるのみならず他より注文も相當に入り來るのみにて人氣頗る強硬 ▲大豆は依然强硬 其後靑豆も三百五十叺の廻着に過ぎざるのみならず價格的の賣物は手控へ居る爲め頗る强硬 ▲小豆は居据り 本品は大豆小豆も出廻り多く市況不引立なるも共後出廻り過ぎずして中へ一般手持筋の賣り急ぎ相場はざるに依り市況強まず

◎各地商況

◎南大門廻穀 京城物價市場



全高田仲買店　株式會社仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　電話長一〇〇　電話長一一九　振替三八一一　電信略符タツ

▲前金御注文は紹介を不要候 ▲營業案内及電信略號表進呈 ▲株式會社受渡金壹百石に付金壹百圓

釜山穀物市場（二十七日）

昨日の通り當市場は開會ありたれども米主側に於ては大阪期米電報は益々高調子を報じつゝありて目先き尚高見込なるを以て賣腰強く一方買主側は殊に米價は騰貴し居れる爲め各地に於ける米價調節の成立等にも依り人氣引立たず本日も全く無商内にて閉散なりされど今後の出廻如何による相場成行は如何なる相場を現出するかは頗る興味あるべし

南大門廻穀

中澤小麥六〇叺 黃州裸麥六〇叺　宜川麥五八叺 小豆栗二七叺　當川白米六三叺 天安小麥一〇叺　中牟小麥五〇叺 仁川外米二五俵　全義福 九二叺 郭山碎米二七叺　郭山小麥二七叺

仁川期米

▲二十七日後場（新規賣買停止中）

第一節 大阪強電今前場大阪第一節二十八圓六十九錢と昨後場止より八十錢大下放れ入電に節前に八圓二十九錢と臨時大暴落入電にて兵庫發電未着なるも昨日の高値三十圓十二錢より實に二圓一錢切の大暴落を報じたり當市中先共に出來不申
第二節 中先共に出來不申
第三節 中先共に出來不申
第四節 中先共に出來不申

▲引跡兵庫發電大阪前場七節八圓六十九錢九節八十三錢八十錢と八圓前日比一圓、後場八圓一錢二十錢と夜場二十七圓○二錢丁度二十八圓○六錢四節七圓八十錢より止め三十錢

▲二十八日前場

第一節 中先共に出來不申
第二節 中先共に出來不申
第三節 中先共に出來不申
第四節 中先共に出來不申

▲引跡大阪前場不明なるも二節高く大阪二十八圓十一錢兵庫二十七圓六十錢と臨時入電に接したり

▲天候晴天昨夜來時々小雨降りたり今朝場は中先共に出來不申三十錢止め東京二十七圓二十錢よりて散會して了り立會中各地電報は則ち寄着たるは嚴しく報ずる所ぞ

▲代用新米格付

十一月限以降受渡し代用新米格付左の通り確定
十一月限 格上げ 四十錢
十二月限 同 六十錢
一年一月限 同 八十錢
一月二月限 同 一圓

▲價格發表に就て

今回農商務省より發表したる米收用價格の發表に就き仁川有力者の談を聞くに主務省の收用價格は九月五日以降東京大阪に於て中米三十三圓以內九月二十一日より同三十圓以内とある是則ち米價の高値制限令にして當然今日の事暴騰の際に立場合に斯くあるべき筈であるべき制限令は無論其他の仁川市場に於ても米價の影響を受け一圓五十錢の暴落したる爲本日の相場の如くなりしも斯る暴落は豫期の斷定を致し居たるなり

市場雜觀

●昨後場は前場引後大阪發電は前場一節二十八圓六十九錢と昨後場止より八十錢大下放れ二節更に八圓○二錢と前日の**最高値三十圓十二錢より實に一圓二十錢切の大々的暴落**を報じたり是農商務省の告示したる米收用令の價格確定により結果さる爲め倒く傍觀の急に當地中先共出來不申に散會したるが今回農商務省の確定したる米收用價格は如何なる影響を收め鮮米界に如何なる影響を及ぼすか問題であるが當時に共筋に於ても此際十分なる取締の必要があると思ふる理由なすは來月四日より東京大阪に於ける中米の價格を二十三圓に**鮮米を一圓の格下げとして三十一圓以內に限度**とするから之を掛りを按除したるものを以つて鮮內の價格を推定するから以上に買ふものは則ち何かの理由の甚にあるが故に其理由を取調べざるべからず斯くして朝鮮米も共に低落せば自然に內地に移出し得るのである更に九月二十一日より三圓となるからは之によりて當局は内地移出米も低落するを至當とす

▲引跡大阪前場九節更に七圓八十三錢と瓦落し前止め九十五錢後場八圓丁度より○六錢と跳ね七圓十八錢と押し八圓○六錢止め東京二十七圓二十錢より三十錢止め入電

●市塲雜觀 の收用別段高かりし爲め又復値下を見たる時に際し價格の發表を見るに至つたのである同時に東京大阪の期米大暴落を報じたる事人氣は急轉するに至る今日は低落せずとの現下環境時期にて正米買付は恐くの乘じて低落するや疑問なるも前途は必らず暴落の傾瀕なりと自然である只注目すべきは來月四日以後の米價が如何なる成行を呈するか是か問題で其邊の時に共筋に於ても大に取締りを嚴重にする必要が起ると思はれる

●今後の米界は大なる者あらんとするは此際に於て多數の米を所持し居る者少なき商人にして朝鮮米は農家の手持米のなき折柄なるとしても手持米の影響を考へ此の如何あるべきかと思はれ一方朝鮮にても共に米價調節令の發表は實に米界にとつて大なる事件と謂ふべし本日の米價は兎に角内地米界に影響を與へ斯る事の發表を見る事に至り低價を見るべきとする所ならんか

●**正米の暴落は忽**ち同業者に大なる打撃を與へるであらう

●**定期に波及**し來るべき低下は日に當然にて正米の暴落は相當大なるものであらう

●**寄示現**る時に高値制限令あるのに際し東京の二十七圓と大阪の二十八圓丁度と共に現する條件少なる作柄の大豐作であつた爲め正に**正期米の鞘**に依る下落の作用を見たるもの

●**今後の定期は賣**越し**頗る妙味**ある限りなるべし

▲來月二日發會する**十一月限以降の代用新米格**上げは**十一限の四十錢より月々二十錢を累加**し來年一月限に至りよ一圓格上となり三月限よりで新標準米なるから當然は一節不明である引跡大阪發電は一節高い二十八圓十一錢兵庫二十七圓六十錢と臨時入電に接したるより見れば兵庫市場も本日前場より立會開始したるものならんか

塚原卜傳　第百八十席　悟道軒圓玉口演

塚原卜傳先生は掛けたる鍋の蓋をぽンと片手に執つて坐したるままピタリと構へた、宮本武藏不思議なる構へかなと心中に怪しみながら二本の木劍を大地に執り、エイヤッと氣合を掛けて打込まんとしたが、怪しむべし卜傳の身體八寸の鍋の蓋に隱れて更に見わず、こいふと讀者諸君がお笑ひになるが卜傳が鍋の蓋に隱れて了つた譯ではないのでさう見えるのが術の妙であります、道卜傳の工夫は物を包むの意、夫の構へ女妙にして武藏打込む隙がございません、武『恐れ入りました』小『恐れ入つては不可ぬ、打込んで見なければ變化を示す事が出來ぬ』武『成る程然らば御免を蒙ります』と武藏も叶はぬのは知れて居るが稽古と思ひましたからヤツと一喝天の太刀を打下した、パチリと鍋蓋で受け止める途端に地の太刀でグイと鍋蓋を引つ繰返して受け止める、今度は天地兩劍を一度に振り上げ水形の法を以て打込んで來るのを卜傳鍋蓋をポンと一つ刎ねて苦もなく二本の木太刀を發へ押へ附て了ひました『何うだい武藏……』武『ウーム』と力を入れて木劍を引かんとしたが取れればこそ、卜傳右の手で蓋を押へ左の手で箸を執り、芋の煮たのを一つ挾んで武藏の鼻の先へ出して『サア芋が煮たから一つお喫り……』武藏驚いた人を喰つた老人もあるもの併し其の法術妙にして中々及ぶ所でない聞きしに優る大名人と武藏木刀を捨てて退つて再拜いたしました『これは俺の發明した從隱れの一手である、之は卜傳の前戲に過ぎぬ、熱心にして倦まずんば知れる限りは教へて遣はさう』こいはれましたから武藏天にも登る心地にて茲に師弟の契約をいたし、山中に止つて滿三個年の間卜傳先生に從つて劍法を學びました、上達は速かにて遂に印可を得、天狗飛切りの妙術を卜傳も我に勝るこも劣らぬ劍客こなつたこ大に喜ばれました武藏大いに喜び三年目に卜傳の許を辭して厚く恩を謝して小倉へ戻りました、此天狗飛切りの妙術は後に門人荒木又右衞門に傳へました、其後武藏は佐々木岸流を討つて英名を四海に輝かし、卜傳先生も其出世を聞いて喜んだが今は四海昇平に歸して卜傳先生も心に掛かる雲もなく、妻の照代歿して三年になりましたから悴長丸改名して塚原土佐守となり佐竹の家老職と出世、二人の子息を立派に育てましたから約束のごとく乘鞍ヶ嶽の閑居へ參つて卜傳の婦人も頗る賢女であります、塚原の家は益々繁昌いたしますから卜傳先生も安心いたしましたものこ見え『最早卜傳も肉身を捨る時が來つたり』こあつて寬永元年甲子九月八十二歲を一期として命終らんこす、聞き傳へたる同門の人々二人の子息は申すに及ばず武藏もまた九州より走上つて參りまして枕邊に侍す、卜傳大眼を見開いて『我幼少より劍を執り人を切り重敗知れず、罪あつて地獄に落ちなば何ぞ閻魔の苛責を受けんや、惡鬼羅刹獄卒の類ひ我に迫らば片端より切つて落し十王の廳を踏破つて五道の冥官に極樂への道案内をいたさせるであらう』こいつてカラ〳〵と打笑はれたのは實に古今無双の英傑であります、殊に同月九日に勝れ究まる偉丈夫、眠るがごとく終焉を告げました、遺骨は山中へ埋め塔を立て供養いたしまするその辭世に

生來死去八十餘年。四股十五溫遍天。諸魔二劍大下横行。熱鐵爐中清風。

卜傳性來仁慈を旨こし、勇武は四海に双ぶものなく八十餘年の生涯一事の過失もなく天壽を完うして終りを告げましたのは珍らしき人物でございます、永々御靜聽を蒙りました塚原卜傳之れにて終りこいたします。

皮膚科專門 外科　京城太平通二丁目　扇田醫院　電話二二五八番

◇安東縣より　靜山生

▲近來朝鮮人の小成金有り、市内目貫の場所に於て堂々たる家屋の建築を爲し居る者多々有之候哉に見受けられ候、朝鮮人が恒心あり恒産ありて健實に發展するは洵に新附同胞こして慶賀に堪へずこ存じ候 ▲安東縣高等小學校の舊校舍は前にも報道致し候通り、新校舍へ移轉の後は當然何等かの方法を以て處分せらるゝ事こ相成可申候に就ては特に安東府留民團議員各位の御熟慮を希望致し候

暦

八月三十日　九星　舊七月廿四日　己酉　本命三碧　東險赤口

▲三碧 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible]

演藝案內

◎稻荷座　本町五丁目　[illegible]

◎黃金館　（晝間）（夜間）二二六六 二二六七　[illegible]

◎潮の如く　[illegible]

◎百萬弗の秘密　[illegible]

◎忍術十勇士　[illegible]

◎有樂館　早川演藝部直營 活動寫眞常設館　電話（階上）五五 （階下）二二〇五　[illegible]

◎大喜劇 拳鬪家 全五卷

◎溪谷情話 森の女神 全三卷

◎喜劇 燒かぬ嫁 全二場

◎夢幻劇 力 全五卷

◎壽館　本町二丁目　電話一〇五〇　筒井政談野狐三次　[illegible]

◎大正館　櫻井町　電話八七三　[illegible]
▲喜活劇『安全第一』五千呎
▲新派悲劇『霧の雨』全四卷
▲連續大活劇『秘密の王國』
▲舊劇『出雲怪談』全三卷

◎浪花館　明治町二丁目　長電二六〇番　八月十四日より開演　東京大阪合同落語大一座　[illegible]

鯨尾羽毛 鯨皮肉類 大販賣　夏季刺身代用品に最も適當　東洋捕鯨株式會社特約店　京城明治町二丁目　鯨問屋　香月商店　振替口座四八四六番

優等清酒　賀茂鶴

廣島縣西條町　釀造元 木村靜彥
京城府鍾路（中央市場）　發賣元 河野酒店　電話二二〇八番

內外科 小兒科 花柳病　京城本町二丁目（壽館前） 電話二一六番　高井醫院　院長 高井貞治　副院長 醫學士 松崎正彥　診察自午前九時至午後九時　日曜祭日正午迄

朝鮮法制研究會　縮刷 朝鮮法規提要
▲ポケット形一千餘頁 ▲總クロース函入美本 ▲定價二圓二十錢 送料 ▲特價一圓八十錢 八錢
內容
憲法、法例―憲法―法例―公式令
官規―官制―官吏―任用試驗―服務分限―請給旅費
賞恤、恩給―賞與―救恤―恩給
文書附印鑑―公文書―印鑑
地方行政―公共團體―面―府―學校組合―水利組合―地方
社寺、宗教―祭祀―神社―寺院―布教―寺刹
兵事―徵兵―六週間現役―服役―徵兵入營旅費
教育―朝鮮教育令
衛生、警察―衛生―警察―保安―遺失物―飲食物―銃砲火藥
財務―關稅―租稅―犯則處分―專賣―會計―保管
土地、林野、河川―收用―調查―國有未墾地―林野―河川
法務―裁判所―民事令―刑事令
產業―商業―銀行―會社―鑛業―漁業―米豆檢查
交通、電氣―鐵道及軌道―道路―航行―電氣
賣捌所　京城太平通　京城日報社代理部　電話長六〇〇九番　振替京城三〇〇番

多くを論ずる勿れ　朝鮮のポンプは熊平なり

京城本町　熊平支店　電話長一六一二番 三一五四番

長水院無煙炭（粉、塊）　無煙炭一手販賣廣告
炭質優秀　價格低廉　出炭豐富
水分 二、四二　揮發物 一、七一六　固定炭質 六九、八四　灰分 一〇、五八　硫黃 〇、三三二　發熱量 七、三七〇
露頭附近試掘炭の分析にて此の結果を得たるものなれば現在採掘中のものはより以上優良なること論を俟たざるべし
價格は精々勉强可仕取纏め多量の場合は特に御相談可致現物先物の契約に應ず
一手販賣　朝鮮平壤本町　株式會社 中村組平壤支店　電話長五〇一番　振替貯金京城三三四三番

大阪商船出帆

神戶、大阪行（仁川出帆）
○沙河丸 八月廿九日 後五時出帆
群山、木浦、釜山經由 八月 日 後五時出
香港丸 八月 日 後五時出
○木浦大阪行 信濃川丸 八月 日
×西湖津 新浦 城津 淸津行（元山出帆）
○宮島丸 八月 日 後十二時
上海、北陸、打狗行（大連出帆）
○基隆丸 八月廿七日 前六時出
湖北丸 八月 日 後四時出
鹿島丸 九月二日 後九時出帆

內地各港出帆主要航路
汎米 北米行 毎月 一回　歐洲 南洋行 毎月 一回　米行 一年四回
切符發賣所 京城南大門通 大阪商船株式會社仁川支店 電話二二〇番

尼崎汽船出帆

下關大阪行 有丸 八月 日後四時出
第二大湖丸 八月 日後四時出
群山、下ノ關、大阪行 秀吉丸 八月 日後四時出
群山木浦下ノ關大阪行 君が代丸 八月 日後四時出
仁川海岸通 二丁目 高杉回漕部 電話五九番

釜山出帆廣告

汽船 元山、西湖、新浦、城津、淸津行
◎第三琴平丸 月 日後四時出
門司、宇品、神戶、大阪行
◎第三琴平丸 月 日後四時出
天須奈藏原博多行
佐丸 七月四日午後十時出
釜山港埋立新町本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船出帆

天候關係ノ爲メ出帆日時等變更スル場合アリ其節ハ本社又ハ各地支店出張所代理店ヘ御照會ヲ乞フ
敦賀行 浦潮 淸津 城津 元山經由
平壤丸 九月 七日 淸津 十日 元山發
越後丸 九月 二日 元山發
浦汐行 大阪 釜山 元山 城津 經由
越後丸 八月卅一日 元山發
雄基行 關門 釜山各港經由 ×印江原道寄港セズ
京畿丸 九月 二日 釜山發
成鏡丸 九月 一日 元山發
元山雄基線 元山迎日各港經由
三浦丸 八月三十日 元山發
大阪行 神戶經由
越後丸 九月 八日 釜山發
錦城丸 九月 六日 元山發
金剛山遊覽便 元山 發 長箭行 六月至十月五ヶ月間
咸鏡丸 九月 一日 元山發
濟州島行 釜山 長生浦 方魚津 九
江陵丸 毎日 釜山發
全羅島行 釜山 元山經由
東廻 公州丸 九月 一日 釜山發
西廻 慶興丸 九月 三日 木浦發
濟州島行 木浦 莞島 經由
昌平丸 九月 二日 釜山發
釜山鎭海線
戶濟丸 毎日 鎭海發
木浦鎭海線
順天丸 九月 一日 木浦發
多島海行 木浦 多島海各島行
慶興丸 九月 一日 木浦發
木浦濟州行 仁川 經由
全州丸 九月 六日 仁川發
海州行 仁川 鎭南浦
鎭江丸 毎日 一回 仁川海州發
南浦 江原丸 九月 二日 仁川發
鎭南浦行 仁川 各港經由
晋州丸 九月 二日 仁川發
京畿道島行 仁川 各港經由
江原丸 九月 五日 仁川發
朝鮮鐵道及社外船ト連絡運送ノ便有
本社 京城南大門通 電話 二九五一 二九五二 二九五三
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦港代理店 山野回漕部
京城南大門 京城切符客取扱店 松原運送店 電話長一七〇番
各其他寄港地に御案內取扱店あり

（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）

第五版

京城日報

[illegible]種々なる時局的の出題り
[illegible]月末[illegible]全部の賣盡を終了すべき模樣なり
こす然して退殼の時局問題は何等[illegible]の多きは長春[illegible]の五萬五千二百噸を最高こす

◎亞鉛經營難

[illegible]する[illegible]濠洲ポートヒリ及び浦鹽殖民地方より供給さる、中間カルミン鑛（暹亞硫鑛）を以てされしが昨年英[illegible]にあらず已むなく彼我の一致こし[illegible]て內地朝鮮滿洲及び香港支那等に原鑛の探求を開始するに至れるも[illegible]を以て其亞鉛含有量は普通百分の六十內外なるに對し內地其他の產鑛は精々百分の四十內外を出でざる[illegible]鑛石を化して富鑛石たらしむる中間作業の準備なきを以て已むを得ず產地を異にし質を同じくせざ[illegible]

▲事業を中廢せるもの[illegible]すら尠からず尤も亞鉛の市價は[illegible]年四五月の交露國動亂發生等の[illegible]

○二十五六圓に恢復せるも素より收支相償ふ見込み立たず何れも[illegible]九、九五）四十五圓、販式（九八七[illegible]

本紙定價 壹部參錢 壹ヶ月七十五錢 ▲郵稅[illegible]
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五十錢 特別[illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

京城日報

八年間の成績

併合記念日に於る感想一斑

本日は正に朝鮮併合滿八箇年の記念日に當れり。既往を回顧するに、政治的に經濟的に教育的に、はた社會的に萬般の施設甚だ多忙にして、當局の勞、洵に多大なるものありこ雖も、八域の舊山河は依然こして未だ大に其の面目を改めず、坐に人をして牛步遲々の感あるを禁じ能はざらしむ。併合の際に於ける寺內總督が訓示の一節に『差當り目下の急務は、新領土の秩序を維持し、富源を開發し、新附の人民を扶掖して治平の恩澤に浴せしむるに在り』こいへり。大綱を提起し來りて、誠に其要を得たるの言なるが、秩序の維持は既に觀るべきものありこ雖も、富源の開發未だ遍からず、全域到る處遺利を存し、轉た前途望洋の感なき能はず。元來朝鮮に於ける天賦の利源を開き、厚生利用の目的を達せんには、之を鮮人民に望むべきにあらず、材幹あり知識あり經驗に富める多數の內地人を移植し、實際に於て鮮人民を指導誘掖するの必要あり。然るに最近に於ける內地人の現住人口は僅々三十萬餘に過ぎず。而も此の數字には官公務に從事するもの及び各會社の從業員等、所謂月給取を包含するがために、是等の人員を引去り、實際富源開發に從事しつゝあるものを求めなば、其數は[illegible]數にも足らざるべし。且吾人の甚だ遺憾こする所、開拓成務の遲々こして進まざる、內地人の移住心に乏しき、一に之れが原由たらずんばあらず。試みに農業方面のみを一瞥するも、現在耕作適好の地にして荒蕪に委しあるもの、國有民有を合せて七萬三千八百餘町步に達しありこいふにあらずや。此の荒蕪地のみを、一戶につき十町步當りに配當するこするも、優に七千戶を容れ得るにあらずや。水產業の如きは其の海面の廣きだけ殆ご無限の富を藏するこいふも不可なく、又工業に在りては、本來朝鮮には工業こ稱すべきもの皆無の狀態なりしを以て、凡そ如何なる事業こ雖も、其基礎を樹て得ざるはなし。其他鑛山山林海運の業いづれも內地人の活躍を歡迎する所にして、吾人の想像する所を以てするに、全域を通じて更に百萬二百萬の內地人の移住を收容するも、綽々こして餘裕あるべし。吾人は此理想を一日も早く現實にせんことを冀ふ。

朝鮮人を敎化して、共に昇平の德澤に浴し、同じく向上の路を辿り、文明の域に踏らしむるは、更に至難の業に屬せり。第一に衛生保健の思想を普及せしめざるべからず。第二に敎育の振興を要す。第三に勤勉治產の習慣を養はざるべからず。是等一朝一夕にして效果を擧ぐべきの事にあらざるを以て、非常の忍耐こ努力こを要するは勿論なり。目下敎育に關する施設は稍其緒に就きたるの觀ありこ雖も、衛生治產の思想に至りては、依然こして舊來のまゝなるを看取せざる能はず。殊に衛生に關する施設の如きは、住民の生活程度こ相適應せざるべからざるを以て、其の實効を擧ぐる實に容易ならず。吾人切に當事者の[illegible]。以上は實に吾人[illegible]の念を陳べたるに過ぎず。[illegible]して考ふるに併合以來僅々八年間に過ぎず。而も現在の成績を擧げ得たるは、吾人當局の勞を多こするに躊躇せず。由來本邦は植民地の經營に就き、其手腕を疑はれたる事なきにあらず。歐米列邦は共に朝鮮の將來に關し刮目環視を怠らざる所なりしが、今日の實際は敢て一步を彼に讓らざるのみならず、或點に就いては寧ろ誇るに足るべきもののなきにあらず。庶幾はくば將來に於て更に一層の良績を奏することあらんことを。

時局と國民思想（三）

▼這回の米騷擾に就て 不平均なる富の分配

東京高等師範學校長 嘉納治五郎氏談（一）

今回の米騷擾に就いて、これを簡單に云へば、是れが騷動を起すに至つたことは、騷動其のものは勿論惡いことには違ひない。然し之れは矢張り社會の缺陷が產み出したことである。即ち社會が未だ進まざる點のあるが爲めで、これが充分進步してゐたならば、今回の如き騷動は決して起らなかつたであらう。眞に進步した國民であつたならば今日の如く物價の騰貴並びに食料の騷騰するが如き事等のあるも、下層民は、成程困難するには相違ないが、今回の如き騷動はしなかつたであらう。併し又此度の騷動の誘引こでもいふべきものは勿論あつた。それは何であつたかこいふに、國內に於ける富の不平均なる分配が即ち其れである。然も此の富たるや、凡そ人間の能力こ努力こに應じて得られるものであるから、或る者は是によつて多くを得、或る者は得られないで終るこいふやうに、必ずしも平等に行かぬことは當然のことである。此意味より來る財產の不平均の生ずるとは何れの國に於ても免れぬことである。さりながら此不平均が甚だしくなり能力こ努力の結果こいふよりも、僥倖に依つて得たもの多くのものが認むるやうになつて來るとそこに一般の困窮して居るものに不平の念が起つて來る。其場合に巨多の富を得たものが己の立場を深く考へてその幾分を公共の爲こか窮民の爲こかに投じ自分も謹愼の態度を持して居ればそれで濟むが之に反してそれ等の支出を惜むに拘らず自身は奢侈に耽り殊更に反抗の心を挑發するやうなことをするから己の能力足らず、努力しても思ふやうに收入の得られぬ人をして無謀な行爲をなさしむるに至るのである。是れ一の原因である。又た一面には商人などが自己の利益のみを圖り、社會の人の迷惑や一般國民の不利を考へずして彼の米穀の買占める等の如きこともしたことが、是れ亦一の原因である。其の他の原因に就ては各方面に亙つて存在してゐる。然し要するにこの度の如き暴動を爲したことは大なる國家の損害であり、且つ暴徒等は少しも利する所は無く、又或る部分に於ては勤勞の結果造り得たものを、破壞されるこか、烏有に歸せしめるに至るやうなことになつてゐるのである。聞く所に據れば中には、不正なとはせず、蓄積もし德望もある人が、金持であるこいふ爲めに災害を受けた人もあることである誠に遺憾なことであるこ思ふ（東京支局）

米騷擾事件に（二）

政府の責任に就いて

東京 某顯官談

◎それ故に若し大隈侯の前內閣が早く此の風潮を看取し、時局の初め、輸出超過、正貨激增、成金簇生の頭初に於て、遠見達識の政策を執つたならば、大に此の弊患を矯正して、時艱の一端を匡救し得たではあるまいかこ思ふ。憲政會の諸君は、現內閣に對して隨分厳なる問責を爲されて居るが、我々

を憂慮し、殊に今年度の財政計畫に於ては社會政策的施設に相當の考慮を拂つたのである。例へば成金稅即ち戰時利得稅を新定したのも之れが爲めであるし、又一方に增稅しつゝ、他方に於て通行稅石油消費稅、綿織物稅等の廢減を企て、更に割附附小額債券案、米の關稅撤廢等を圖つたのも全く之れが爲めに外ならない。兎角近代の社會政策は、此位の事を以て足れりこするものではない。然るに日本の現時は之れ丈けの實行にすら多大の困難を感ずる狀態に在るものではないか。即ち成金稅の如きは、

は決して大隈侯や憲政會を責むる意思は無い。ただ世人の所謂時局成金をして一世に跋扈跳梁せしめ驕奢淫靡終に一般民人の腦裏に深刻なる惡影響を與へたるは實に前內閣時代に其の禍を作りたりこ謂はるゝも吾人は之を辯解すべき何等の辭無きに苦しむものである。

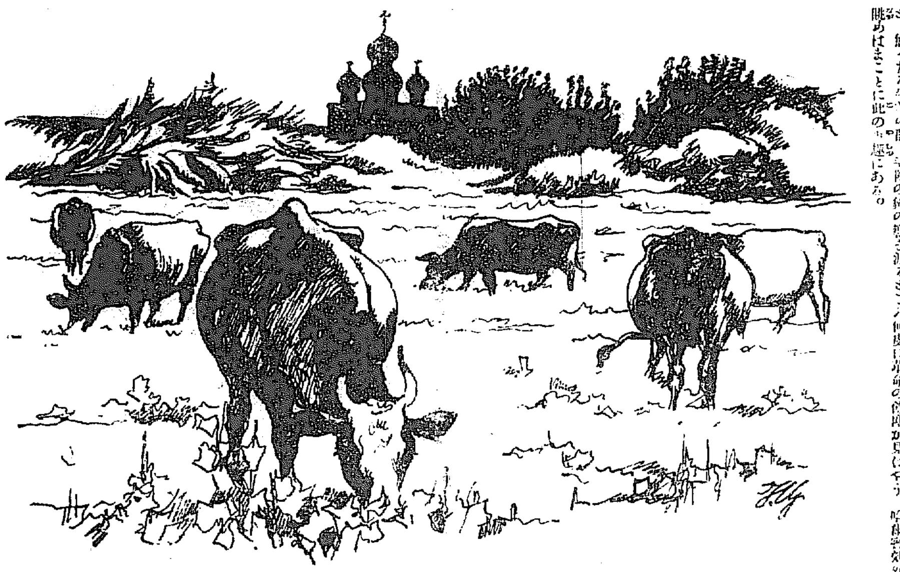
◎現內閣は就職以來深く此の風潮

辛うじて議會を通過する事を得たが、政府の他の計畫は悉く畫餅に歸して了つた。我黨は之を以て責を議會や政黨に嫁するのでないこ思ふのであるが、兎に角事實二に政府の力の足らなかつた爲は事實である。故に目今の社會問題に對しては現內閣こ前內閣こ責を分つべきのみならず、同時に歷代政府の罪である。歷代政府の罪は同時に國民全般の責ではあるまいか。チト言ひ過ぎるかも知れぬが、此の點はよく冷靜に考へて見なくてはならぬ。

哈爾賓畫觀（五）

『光る野』 鶴田吾郎

喧騷の市街より離れて野に出る、八月の太陽に輝く空、鮮やかな牧草、牧童の聲は聞かれず、悠々たる牛羊の群、寺院の鐘の響き渡るところ何處に革命の餘塵が見ゆやう。哈爾賓郊外の眺めはまことに此の一趣にある。



個性こ國民性（五）

文學博士 吉田熊次氏講演

全世界に於て戰勝國こなり世界に於ける文明上の霸權を握つて居る國民は恐らくは此の種の國民性を具へて居るのであらうこ想像されるのである。最後の粘液質こ云ふのは之は稍老衰したる狀態に現はれるもので、感情の移り行きの緩い、其力も弱く又其速度も遲い、斯樣に考へられて居る。之は個人こしては他の人に對しては少くこも害か無い個性である。此個性は個人が老衰の時期に達すれば先づ大體此の樣な傾向を持つものだこ云はれる。老衰の時期に達して粘液質の氣質を顯はすこ云ふことは寧ろそれが自然でもあるし又老人の冷水で何時迄も睡眠して居るこ云ふ樣な狀態を脫却する上から云へば正に天の巧妙なる配劑で個人を幸福ならしむることだらうこ思はれる。只個性全體の活動の上から粘液質こ云ふものは餘り賴りにはならない。從つて國民全體こして斯る個性を持つこ云ふことは餘り賞讃すべきことでは無く、歷史の上から云つても一時非常に盛んであつた國民が遂には殆んご其存在さへも危まれる迄に衰耗することがある。恰も之は個人が年を取るこ同じで希臘羅馬など昔盛んであつた國がだん〳〵こ衰へていつたこ云ふことも、畢竟粘液質的國民性が顯はれたからでは無からうか。又今日世界に於て非常に勢力を揮つて居る國の中にも或者は尙は壯年期に在るが或る國民に於ては既に老衰の域に達し、膽汁質の氣質[illegible]衰耗の方向に趨きつゝある國民もあるかも知れない。兎に角個性こ云ふことを氣質こ云ふ風に考へ其の氣質が個人〳〵に於て異なるこ共に、年齡に依つて同じ個性の內に於ても多少相違を來すこ云ふことが若し事實であるこするならば、國民全體こしても四つの氣質の中の何れかを最も多く持つて居るのである。個性の觀察法を國民性の觀察に移して考へると斯る推論が出來る譯で、斯る推論は或る意味に於て個人こしては其修養反省の材料を與へると共に、國民こしては國民性の長短を知る上に於て反省の材料を與へ、國民性の修養の基礎こなり得ることではあるまいかこ考へる。之は通俗的に謂ふ所の四つの氣質に就ての個性の觀察こ國民性この推論であるが、尙ほ他の見地よりして（其基礎は矢張り四つの分類であるが）種類を分けることもある。

並行線（六十五）

瀧閑村

官太郎は此外におのぶが少しも夫の性質や、職業や、それ等を根にして發する苦悶に對して、理解も同情も持たないのを慊らなかつた。

時は總ての物事を通過し且つ美化する。現在のおのぶに對する不平不滿の思ひが弱るこ、そこに閃電の如く餅子の影が心の中に閃くのを禁ずることが出來なかつた。釣落した魚の大きく思はれる遺憾も加はつてゐたのは否む迄も無い。

十二月に入るこ、市外の官太郎の家は市內よりも早く冬が襲つて來た。粗末な普請の雨戶を終夜北風がガタ〳〵鳴らす夜もあつた。世間こ反對に官太郎の仕事は寒さこ閑散になつた。此閑散は官太郎に忘れてゐた色々の事を追憶させて不愉快な事が多かつた。

おのぶの腹は少しづゝ脹立つて來た。段々起居が不性になつて來て、モゥ一所に散步する日も無くなつた。おのぶは能く實家へ行つた。最初は

『母も宜しく申しました』

など、傳言を傳へたり、到來物だこ云つて食る物を持つて來たりしたが、次第にそんな事が少くなつた、おのぶの行く事が頻繁になつたからであつた。

所で『年末賣出し』の札を出して、瓦斯燈や、提灯や、旗など、ケバ〳〵しく店頭を裝飾した店が多くなつて、藥店の店頭には『[illegible]』赤いモミ袋が黄色な風に吹かれる十五日過ぎに、おのぶは官太郎の出勤中、午飯を濟ますこ、平常の通り家を締て飯島の相談などに實家へ行つた。三時過ぎに風呂敷包みを抱へて歸つて來て見るこ、掛けて行つた裏口の錠が外されてあつた。

『オヤ』

おのぶはそこへ立縮んで、暫く家の中の樣子を窺つた後、漸く閾を越した。座敷へ入つて見るこ、箪笥の抽斗は引抜かれたのもあるし、入から、押入の上やらに衣類が散亂してゐた。

『泥棒だ』こ思ふこ、まだ何處かに隱れてゐるやうな氣がして、段々暮れて行かうこする冬の日が、モウ室の隅々は灰色になつてゐる、此家の中に一人居るのは氣味が惡くて堪らなかつた。さうしたら良いかこ、ワク〳〵する胸を抱いて途方に暮れた。

『オイ、おのぶ、開けないか』

そこへ官太郎が歸つて來た。おのぶは漸く人心付いて入口の格子を開けた。そして官太郎の顏を見るや否、

『貴郎、大變よ』

こ縋るやうに訴へた。官太郎は靴の紐を解き乍ら

『ごうしたんだ』

『泥棒が入つて……私が實家へ行つた留守に』

『何か盗られたのか』

『私も今歸つて來たばかりなの』

官太郎も荒された自分の家を見るのは不快であつたが、二人で段々調べて見るこ、おのぶの紙入こ二人の衣類を七八枚盗まれた事が判つた。

『出るか出ないか判らないが、兎に角警察へ屆けよう、お前が無暗に家を明けるからだ』

おのぶは其言譯をするよりも、盗まれた衣類を惜んだ。

『あの羽織はいゝ銘紗だつたのに……モウ一寸買はれないから』

移轉並に名稱變更廣告

今般酒包虎之助儀藤永田鑛業部技術主任を辭し坂元分拆所こ合同の上左の處へ移轉し專ら左記の業務に從事す

一分拆 一製煉所の設計
一鑛床調査 其他鑛業上必用の件

舊坂元分拆所
京城黃金町一丁目一九二の九
京城鑛物試驗所
電話長一三四四番

模造品續出乞御注意

オキシパサー

本器は科學界の泰斗マイケル・ファラデー氏の發見唱導に係りダイヤマグネチズムの原理に基く大氣中の酸素を利用したる治療器にして使用後直に[illegible]

脈搏の整調強壯を促し疾病の根元を絕滅せしむるに有效なる呼吸作用の理想的治療法[illegible]

効力永久にして器械代以外藥品等の費用を要せず使用簡便にして何等の危險なく婦人子供も容易に使用することを得、即刻リウマチス神經痛[illegible]

胃腸病心臟病神經衰弱生殖器病肺炎肋膜炎感冒婦人病諸病等の急性慢性に偉大なる効力あり治驗者の報告書は申込次第無料贈呈す

定價金參拾八圓

東京市麴町區有樂町一ノ三 大日本オキシパサー商會 電話本局二六九七 振替東京二三八一

特約店 京城本町二ノ七一 酒本高明商店

◎砂金鑛石 ◎純金銀貴 ◎買入分析

京城旭町二丁目六番地 宮內地金商

● 移轉廣告

今般左記へ移轉仕候間一層御引立被下度希上候也

大正七年八月

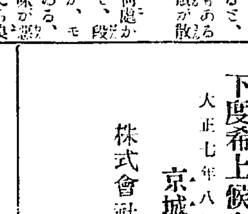
京城南大門通二丁目一三七
株式會社 大倉洋紙店 京城出張所
電話四九〇番

◆給仕採用◆

年齡十五六歲高等小學卒業程度の者二名採用希望者は履歷書携帶本人來談あれ但し市內に保證人を要す

漢湖農工銀行

ミルク界の大王
金線印
コンデンスミルク



製造元 極東煉乳株式會社
資本金 壹百五拾萬圓
工場 靜岡縣三島煉乳場 北海道札幌煉乳場
自營牧農場 北海道輕川 面積三百萬坪
內外一手販賣 三井物產株式會社
朝鮮特約店 京城 中嶋商店 仁川 三友商會

櫻岳 藤戶計太著

最新朝鮮地誌

クロース金文字入 八百五十頁 定價金二圓 郵稅十二錢

著者は地理研究に熱誠にして半島の言語、風俗、慣習の調査をなせる朝鮮通にて曾て學生時代に支那富源を著し盛名嘖々たりしものありしが今回朝鮮の地理研究の結果を發表せり

一本書は大正二年十二月の道府郡行政區域の改正及び其後各道に於ける面洞里の廢合に依る最新の朝鮮地理書にして內容豐富なり

一本書は第一編全道に於て沿革、位置、境界、地勢、氣候、產物、人種、族別、民籍、戶口、言語、文字、風俗、宗教、教育、衣食住、行政、財政、經濟、產業、商業、交通を記し

第二編各道に於て沿革、位置、地勢、交通、經濟、產業、商業、戶口、著名山河等を記し

第三編各地七百餘ケ所に於て沿革、位置、地勢、交通、商業、產物、戶口表、官公署、學校、會社、組合、町名、名所、舊跡等を記し加ふるに實用的各種の參考表を以てせり

一本書は附錄こしてアイウエオ別道府郡島面索引及內地、臺灣、關東州、樺太の地名表及五十音別目次を追加せり

一本書地名には朝鮮諺文を附し日本假名を以て音讀を附加し國語、朝鮮語の連絡を知るに便し引いて字音の關係に依り內鮮關係の密接なるを明白ならしめたり

一本書は內鮮人を問はず官民を論ぜず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の最新最好の案內者たり指導書なり

一本書は各種學校各官衙各銀行各會社に最も關係ある著名地の必要なる各般の事項を蒐集せるを以て各種學校、講習會の良參考書なり

一本書は繁簡中庸を得て取捨宜きに適し讀者をして通覽一過直に半島各方面の事情を通曉せしめ遺憾なからしめたり 經濟に運輸交通に行政に商工業に金融に便ならしめたり

一本書は朝鮮を經營し又旅行せんこするものの爲めに充分なる調査研究資料を供し事業計畫實行に當り最良の指針たり又旅行探險者をして安全なる進行をなさしめ毫も跋渉するの危險なからしめたり

一本書は名山麗水名所古蹟に關する詳細なる調査資料を供し遊覽者の探勝歷史家の探究に便せり

一本書は全編五百頁文を繙けば卷を措く能はざるを得べく立て全道諸般の事項に當り安然に活動するを得せしむ

一本書は資材正確周到にして序次懇切を極め讀者をして多趣ならしめ誠に空前の好著なりこす ここを注意せり

朝鮮事情に精通せんこする有志者は速に本書を購求して左右に備へられんことを望む

發行所 京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城二〇〇番

取次所 大阪屋號書房

◇北露要都陷落說

倫敦へらる處に據れば聯合軍はペトロザヴスク（オネガ湖畔北露の要都にてペトログラードを距る鐵路約二百五十哩）を占領せりと（合同通信電報）

◇英佛軍各地占領

英軍は獨ヒンデンブルグ線に到達しモンシー、グエマツプ、ソンクール及カルノイア等を占領せり、又佛軍はフレスノアイ、ル、ロアイエを占領せり（合同通信電報）

◇聯合軍 墺諸要港砲擊

聯合國飛行機數隊は墺國海軍根據地たるポーラ港に侵入し是と同時に英海軍聯合軍はデュラゾウ、クル、ネオラ及びカッタロの諸港を砲擊したり（合同通信電報）

◇英騎兵バ市に入る

英軍騎兵偵察隊は二十五日朝を以てバポーム市に入込み始めたり（倫敦電報）

◇兩將軍々功表彰

佛大統領ポアンカレー氏は首相クレマンソウ氏と佛軍總司令部を訪ひ親しくフォッシュ將軍に元帥杖を又ペタン將軍に軍功章を授與せりと（巴里電報）

◇[illegible]列車事務再開

アミアン、[illegible]間の[illegible]鐵道[illegible]に至る鐵道本線に於て[illegible]（巴里特電）

◇米伊兩國人徵兵

米國外務省[illegible]伊國大使は協定に調印せしが其內容は伊國に於ける米人及び米國に於ける伊國人を軍隊に徵集する事を定めたるものなりと（華盛頓電報）

◇南方承認と米國

南方政府承認問題に就ては曩に近衛芳氏の子息伍朝樞氏渡米し運動を開始せるを以て米國も眞面目に考慮しつゝある如くなるも交戰團體として或は政府としての承認なるや不明なるも或は列國が段政府と借款を契約し之れに便宜を與ふるを阻止する目的ならんかと推察せられ列國は形勢觀望中なる如し（新青電報）

◇總統選擧期協議

參衆兩院は總統選擧期日を迅速に決すべき議案を協議すべし（北京電報）

◇岑春煊總裁就任

岑春煊氏は廣東軍政府政務總裁主席に就職せる旨通電を發す（上海特電）

◇張督軍歸奉

張奉天督軍は廿七日午後八時歸奉せり驛より督軍衙門沿道の兩側は衛兵を以て滿たされ一般の通行を禁じ嚴重なる警固の中を威風堂々多數の高官に迎へられ無事督軍公署に入れり（奉天特電）

◇調節委員會

大藏省にては爲替調節其の他に就き一般來議中なりしが近く爲替調節調查委員會設立に決し委員は當局と民間側より既に人選終了せしを以て近く發表さる可し（東京特電）

◇晉州地方農作

晉州地方は天候恢復し最早豐作の見込附きたるより每日鮮人の[illegible]にて市中殷盛を呈し居れり（晉州特電）

◇垂井[illegible]著任

[illegible]十六日[illegible]著任せり（[illegible]）

◎王世子御著京

王世子殿下には別項の如く二十八日夜御著京相成たるが南大門驛には長谷川總督を始め文武大官朝鮮貴族官吏實業家等官民紳士數百名の出迎へを受け貴賓室より自動車に召されて德壽宮に入らせられたるが停車場前には大正親睦會を始めとし各種團體の御出迎へあり京城府民は約一萬の群集堵列して奉祝し居たり

◇吉田博士消息

吉田博士は二十八日金剛山より自動車にて京元線平康に出で京城に向ふ筈なり（元山特電）

◇山本京大教授

京大教授山本美越乃氏は滿洲調査を終へ廿八日夜安東通過京城へ向へり（安東特電）

◎電報遲著善後 遞信當局辯明

一般界の好況等に依り電報取扱通數は頗る增加を來し[illegible]

◎ハバロフスク市近況

久しく交通杜絕せるハバロフスク市から七月三十一日出發し去る十八日浦鹽に著せるハバロフスク市日本居留民會長武內氏は左の如く語る

▲六月二十九日の浦鹽事件の報は直にハバロフスク市に傳はれり六月三十日より同市と浦鹽との交通通信杜絕し七月四日まではニコリスク市とハ市とは汽車通ひたるも此日より不通となれり七月九日に至りイマン市以南は交通電信全く杜絕せり爾來今日に至るまでハ市とイマン市間には一週三回汽車發著し旅客の往復も自由なり

▲黑龍江は今年は水量豐かにして汽船は例年通り上下し旅客をも取扱ふ又黑龍江鐵道は汽車往復し之が旅客の爲に切符を發賣し居れり

▲浦鹽事件以前はハバロフスク勞兵會は外人に對して寬大なりしが浦鹽事件後に至り其態度一變し勞兵會の外人に對する態度は嚴重を加へたり殊に支那人朝鮮人に對しては家宅搜索を行ひ市中に行ひてピストル其他の武器を押收したることあり哈市在留の日支英佛ギリシヤ人は協議の上にて外國人聯合同盟會なるものを組織し各自其生命財產權利を保護するに努めたり

▲北滿及び浦鹽との交通遮斷せられたるを以て糧食は次第に減少を來せり勞兵會はホルワット一味及び支那官憲が北滿の穀類を黑龍江州に輸出することを禁じ居れることを憤慨し居れり左れど北滿の支那商人等は官憲の命令を意に介せず密にジャンク船に穀物を積みて之れを黑龍江州に密送し勞兵會にては高價なる代金を拂ひて之れを買込み貯藏し居れり外國人に對しては兎に角糧食は規定通交付しつゝあり

▲ハ市には元俘虜兵約六千ありたるも其內四千許りは早くイルクツク方面に出發したれば殘留者は僅に二千名にして此中にて武裝せるものは六百位に過ずハ市勞兵會はチエックに對抗せん爲募兵し或ひは强制的に徵兵に應ぜしめ居れり募兵の成績良好なりしは黑龍州のアレクセフスカ市にして此市のみにて勞働者の應募者前後數回にて四五千人を下らず兵士は月四百留乃至四百五十留の手當を支給せられ人夫は僅に二百五十留內外なるを以て兵に應ずるものは多けれども人夫となるものは極めて少く人夫に不足を感じたる勞兵會はハ市の在留支那勞働者中より人夫を募集したるも全く應募者なかりしハ市には支那人約五六千人ありハ市方面の赤衛軍は俘虜兵約三千名を合して七八千人位なるべし俘虜兵は比較的少數なり砲は約三十門彈丸は目下約三十萬發を有し彈藥に缺乏し居れり

▲ハ市在留邦人は總て約四百五十名なりしが八月五日より同十三日にかけ數回に亘りて三百五十名餘はハ市を引揚げて黑龍江口のニコライフスク市に赴けり危險を感じたるが爲ならんかと思はる

▲ハ市勞兵會外交部長はスタンケ井チと云ふ兵士あがりの多少教育ある人にして其妻は朝鮮婦人なり此の婦人は露國の女學校にて教育を受け露國の小學教員たりしことあり（浦鹽）

◎仁川と濱阪航路（二）

鐵道長距離遞減運賃改正 仁川穀物協會の運動

當仁川は港灣としての本能を發揮することを得ず百萬の工費と十年の歲月とを要して出來せる築港も之れが利用の道を絕たれ斯くては築港施設の旨意に悖るにあらずや、思ふに港灣貨物の鐵道集中策たる所謂遠距離遞減法を施行するときは各驛に停滯せる貨物の大半は夫々各港灣即ち支線に排出され幹線は正に其の能力に適應する貨物の輸送を圓滑完全に爲すことを得徒らに停滯貨物に苦しむるの煩を除去し港灣も亦隨つて復活し年中絕えず平均して出廻り貨物の增加を見るに至り茲に於て時期の如何に係らず何時にても相當の積荷あるを以て自然

▲船會社側に於ても比較的低率の運賃を以て廻船し得ることゝなり兩々相俟ちつゝ益々貨物の輸送をして順調ならしむるを得べし而して一面大阪商船會社又は多額の航路補助金を總督府より給與し就航せしめられつゝある朝鮮郵船會社等をして命令航路として京阪間を運航せしめられなば現在の滯貨を一掃し得るものと思惟す今朝鮮郵船會社に於ける配船狀況を見るに

東海岸の部

▲大阪濟州線 平安丸（一、五八〇噸）▲敦賀元山線 ▲雄基門司線 京城丸（九〇〇噸）▲[illegible]丸（七〇〇噸）▲咸鏡丸（七〇〇噸）▲[illegible]丸（七〇〇噸）▲淸津敦賀線 平壤丸（一、一〇七噸）

西海岸の部

阪神其他內地聯絡船一隻もなしにして西海岸には一隻の配船さへなく然るに貨物集散の狀況に就き各港を比較するに

東海岸之部

港名	移出入合計（圓）
淸津	三、四七七、七八九
城津	四、九七〇、三六八
元山	六、五三一、二七八
合計	一四、九七九、四三五

西海岸之部

港名	移出入合計（圓）
仁川	一三、六四二、八六〇
群山	八、三八三、九〇七
木浦	七、三〇八、一九四
馬山鎭海	一、八三六、二八〇
合計	四二、六六六、四八五

之れに依て見るも如何に配船の不公平なるかを知るに足るべし乃ち予等は此の趨行より鐵道運賃の遠距離遞減法を撤廢すると同時に速かに命令航路開始方を當局に請願しつゝある次第なり

而して一面釜山港の現狀如何を視るに該地は朝鮮郵船會社大阪商船會社其の他の寄港船あるのみならず特に一局の斡旋に係る內地連絡船あるを以て阪神釜山間の運賃は比較的低率にして例へば仁川阪神間の運賃右二圓二三十錢なるに比し釜山阪神間は一圓二十錢にして其差額一圓以上に及び而して仁川より釜山迄での鐵道運賃は遠距離遞減法により五十錢餘なるを以て仁川より態々鐵路

▲釜山に輸送し該地より更に內地に輸送するの奇現象を呈す況んや各沿線の貨物が各港灣にて立つるは當然にして爲めに[illegible]

◎仁川米積出

二十四日仁川港解纜汽船榮東丸にて玄白米一萬四百七十四石を內地に移出せるが出荷人は辻川、島井、北島の三名にして受荷人は全部鈴木商店なりと

◎直通列車混雜

近來休暇利用の學生其他の旅客激增のため南大門釜山間の急行列車は常に滿員にて殊に婦人小兒は非常に混雜に堪へ難き有樣なるより京城釜山間の往復には左記の列車を利用するが極めて便利なる可しと

▲南行 南大門發 午前十一時三十分 釜山著 翌午前四時十分
▲北行 釜山發 午後二時五十分 南大門著 翌午前六時四十五分

◎鑛業登錄（自八月十四日至同十六日）

▲事務所設置屆
金銅鑛 全羅南道高興郡大西面 林吉[illegible] 全羅南道高興郡大西面不山里に大興鑛業所を設置し八月一日より鑛業に著手
鐵鑛 黃海道黃州郡松林面山田馬次郎 黃海道黃州郡[illegible]面亭子里に黃州[illegible]鐵山事務所を設置し八月一日より鑛業に著手
同 同黑橋面 同
同 同天柱面 同
同 同九聖面 同
金銀鑛 平安南道成川郡[illegible]面館城里 中川長三郎 平安南道成川郡[illegible]面館城里一二戶に[illegible]事務所を設置し六月二十七日より鑛業に著手
[illegible] 咸鏡北道吉州郡[illegible]面[illegible] 咸鏡南道端川郡北斗日面大新里新昌里に中山鑛山新昌事務所を設置し八月十日より鑛業に著手
同 成鏡北道鏡城郡[illegible]面本町九十一番地に[illegible]事務所を設置し七月二十七日より鑛業に著手

◎總督府豫算查閱

總督府大正八年度特別會計豫算は先般來鈴木度支部長官の手許に於て査定中の處既に全部の査定終了せるを以て二十八日午前總督室に於て鈴木長官說明の上總督並に政務總監の査閱を開始せり

◎井戶川少將歷訪

二十七日夜來壤より入京せし井戶川步兵第三十九旅團長は二十八日午前長谷川總督、高島第十九師團長、市川軍參謀長を歷訪せり二十九日は高島師團長の步兵第七十八聯隊初度巡視に立會し同夜歸壤の豫定なりと

◎元山長崎間運賃

朝鮮郵船會社の元山長崎間運賃は今回引上の結果一等六圓八十錢、二等五圓、三等三圓四十錢に改定したりと

人事消息

▲三浦小次郎氏（農商務省技師）二十八日夜入京朝鮮ホテルへ
▲宮原六正氏（勸業模範場技師）二十八日夜退京
▲久徳高鷲氏（大邱慈惠醫院長）同上
▲田中道尙氏（山中商會主）同上

鳥瞰雜俎

◇近着の米國新聞はヒンデンブルグ元帥の頓死を傳へて物好な米人は大騷ぎをして居る▲ヒンデンブルグと云へば獨軍の首腦其勇名も惡名も世界に走せた爺さんで當年七十の坂をも越えた老將軍である▲五月十六日大本營の會議で獨帝と激論の揚句の餘り腦震盪を起して頓死したと云ふ事だ▲が無論此報道も風說として傳へられて其後何等の確報もない▲ヒンデンブルグと云ふのは虛實等が意見の扞格のあつたのは事實らしい▲と云ふのはヒンデンブルグ將軍の隆々たる成聲に對し嫉妬家の獨帝は心中多少の不快を宿して居たかも知れぬ▲イヤ何うも其うであつたらしい其處で獨帝はビスマークを突然免黜し最近テルピッチや其他を追退けた獨帝の手腕から見ればヒンデンブルグを追つ拂ふ如きはほんの朝飯前の仕事だ▲近來ルーデンドルフが急に頭を持上げたのはつまりヒンデンブルグの凋落された證據ではあるまいか▲過去數箇月に亘つて同元帥の事が一つも傳へられず其所在迄も殺ぜられぬのだから頓死說なども出すのだらうが▲一說によるとヒンデンブルグは病氣に罹つて居て最早昔日の樣に到底獨軍に號令する能力がなくなつて居る▲だから其晰もなくルーデンドルフが後任の參謀總長に當つて居ると報ぜらる▲如何に豪傑でも最う七十の坂を越えた爺さんだから髙くさを幾等食縮つたつて長い事はない相だ▲英雄の末路も亦悲慘なものだが之れと云ふのも大分殺した無辜の國民の亡靈も祟つて居るのだらう▲尤も彼の死を一番に傳へたのはヌーヴエレと云ふ瑞西で刊行せらる佛字新聞であるから滅多に信用は出來ぬ▲或は敵勢を挫く爲の例の慣用手段かも判らぬが▲其にしても槍玉に揚げられた頑固爺さん大に怒つて居るのだらう

政界裏面觀

城南生

八月二十四日報 ◎原總裁の歸京は未定なり。芝公園の原氏邸は、目下修理普請中にて歸京は其れが出來上りての頃なるべく

◎幹部會の意嚮を齎して盛岡に赴ける橫田幹事長は、至つて手持無沙汰の態にて歸京せり、原氏は幹事長に對し、寺內伯は三十年來の友人也、自分が佛國公使館書記官たりし當時、伯は同武官たり、交友斯くの如くなるが故に、寺內伯個人に對しては、常に滿腔の同情を有す

◎隨つて今回の騷擾事件に就ても寺內伯に對し、此の問題にて倒閣を敢てするは忍び得ざる所也。第一騷擾の原因や性質其他に就ても十二分の調査を要し、及之れが善後の始末に就ては、最も注意を拂ふべきものがある、此の際徒らに政變を談ずるが如きは、自分の衷心欲せざる所であると、云ふのが原總裁の意見の大要なりし、如し

◎而して總裁は、[illegible]目下修理[illegible]にて歸京して旅館に[illegible]に行かない、又南地（盛岡）に於て目下兒玉（秀太郎）[illegible]か到手に[illegible]居るものがある

◎右に、政友會は重れて幹部會を開きて幹事長の報告を聽取した上、彼等は一層時局や騷擾事件に對する言動を慎む事となり、其の代り、夫れ以來連日の如く本部に幹部會を開きて、一種の負け惜み的成勢な試み居るが如し、但し別段其將的の相談とても無く、騷擾事件の調査、國民生活問題の調査、埼玉縣の補缺選擧の相談等が其の重なるもの也

◎然るに政友會幹部連は、政變遠からざるを憶信するもの、如し、元田氏の如きは、ポーツマスの焼打事件は九月にして、桂內閣は翌年の一月に掛冠せり、今度の騷擾は八月なれば一月繰上げ、政變は遲くも十二月に來らん

◎故に政友會は、夫れ迄待てぬ程餘裕無き譯にあらず、蓋し現政府は、既に脈の上がつた重態患者故何の追窮も試みざる譯也、政友會は死屍に鞭たすと云々と語り居れり

◎尙中橋氏は[illegible]政友會は飽く迄是々非々主義なり[illegible]考へ也、然るに今回の事は[illegible]考へても政府の失策也、第一[illegible]行り口が、終に[illegible]騷動を起こした[illegible]也。然るに政

[illegible]交が下手に談を進めると、惡い事は惡いと決定を與へねばならぬ、ますれば政府を倒さねばならぬ事となる、これは其だ忍びない事だから、成る可く遠く片付かないやうにして居るそれも政府が居据りと決定し、是非共四十一議會に臨むと云ふ決心だと、宜いでもしたならば、政友會は無論起たざるを得ない、併し政府は左様な宣言をしない許りでなく、早晩倒れる事が明白である、故に沈默して、居るのださ

◎更に岡崎氏は曰く、憲政會が頻りに交渉をして來るから自分は断然と答へた。即ち、若し憲政會が眞に此の政府を倒すと云ふ策を極めて來るなら道連をしても好い、他日分け前を分けても好い、何時でも憲政會は兩頭の蛇で、何時でも三分の一位は政府に味方しようと云ふ氣分に支配されて居る。故に劍呑でお相手が出來ぬ、と云つてやつた

◎併し自分（岡崎氏）の見る所では憲政會も大分構つて何んでも、政府倒壞一方に大勢が傾きそして今度は政友會にやらせ、其の次を自黨でやれば好いと云ふ方に傾いて來たやうだ云々と岡崎氏は觀測して居れり

◎之を要するに、政友會は、總裁が歸らぬ事に對し、原氏には、夫れ相應に決心あり、且つ見當を定め居る結果なるべしと觀測し、却つて決心を固めたる氣味あるが如し

◎翻つて政府側を見るに、橫田幹事長の齎らせる報告以外、政府は過ぎ、原氏とは、全く完全なる諒解を得たる如く樂觀するものあり、無論幹事長の傳言報告を誤りたる點に、原氏と諒承の手段を設りたる點もあるも、政府側の樂觀は少しく事情通に、一般世間の氣分が政府側に有利に引き寄くる力無きが如し、新聞、社會民衆心理に對する對策の當に不行屆なるは致すべし

◎西伯利亞のチエック軍振はず、隨つて我軍は益々深く進出する必要あり出兵は更に大なるを要する模樣也、又北滿方面へは、別個の趣旨に於て更に增兵するの必要あり

◎然るに增兵の件に關し日本と米國との間に諒解を得ざる點あり、近く或は大問題を惹起するに至るやも知れず

◎無論英佛等は大歡迎なれども、米國は、日本の增兵が米國の計畫、殊に鐵道管理の野心と、衝突する點を生ずる爲め、米國は、結局、何事を持ち出し來るやも知れざる事情あり

◎のみならず、北滿出兵は、外交調査會に附議せざる所にして、原、牧野氏等の黨に極力躊躇したる所殊に米國と協調を缺くが如きは彼等の絕對に反對する所也

◎故に前記の問題は內外双方に意外の大問題となるやも知れず、場合に依りては、此の問題こそ却つて政局に影響するに至らずやと察せらる、問題は多分二三週間後に起らんと思はる

◎米價依然高く、又當局の狼狽的救濟には非難百出、各種の理窟を並べるものあり、殊に米價の高きは、出兵政策の結果也との流言あるなど、事々物々頗る困難に進へず

◎然れども政府は極力內外の政策を實行する決心にて、關係大に努めつゝあり、人心も次第に沈靜し始めたり、ただ事情右の如くなれば、內外何時如何なる變動起るやも知れず

◎三浦將軍は最近度々寺內伯に會見を試みんとせしも、悉く拒絕せられたる由にて、三浦將軍も大に憤慨し居れり、嘗て[illegible]鶴鳴は、[illegible]る[illegible]等の[illegible]に[illegible]

◎造船業近況

[illegible]

▲各造船所共

[illegible]

商業登記公告

支配人選任 京城府[illegible]龍洞[illegible]番地[illegible]支配人ノ氏名住所[illegible]
[illegible]
大正七年八月貳拾日登記
京城地方法院

公告

一京城府[illegible]南大門通道路改修工事右九月三日午前十一時入札ニ附ス希望者ハ當府門前掲示ヲ見ヨ
京城府

購買入札

木製器具詳細ハ八月二十七日朝鮮官報ニアリ
第十九師團經理部

公告

當合資會社ハ大正七年七月三十一日解散シタルニ付キ當會社ニ債權ヲ有スル者ハ來ル大正七年十月二十八日迄ニ右期間中ニ申出ラレ度シ若シ右期間ニ申出無之トキハ淸算ヨリ除斥致候仍テ公告候也
大正七年八月廿八日
釜山府[illegible]三十九番地
合資會社[illegible]
淸算人 [illegible]
同 [illegible]

朝鮮人の衣食住

芳賀軍醫總監序文 豐永農學博士序文 定價廿五錢 郵稅四錢
京城鍾路[illegible] 發行所 大和商會出版部 振替京城二三五四九
朝鮮の事情を知らんとする者は必ず本書を一讀せよ

◎双眼鏡◎

◎十五形 六枚玉 十二圓
◎十三形 六枚玉 十一圓
送料鮮內十二錢 外三十錢
右僅少ニ付至急御申込被下度候
京城太平通 電話本局一八番
京城日報社代理部

調査募集規定
□募集規定
[illegible]

朝鮮銀行

京城
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、哈爾賓、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、開原、營口、傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海
出張所 右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候
振替貯金口座 京城三二三番
電話 六〇一〇番

萬年社

人事百般 周旋業
京城府明治町貳丁目 電話長一八四四番

日鮮會話精通

神珍總クロース 頗美本 ◉七百餘頁 ◉定價一圓三十錢
諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む
凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書を繙きて知る事を得べし
眞に本書は萬般の會話例を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切。會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して要讀あれ
發行 京城太平通一丁目 振替京城三〇番 京城日報代理部
取次 京城本町二丁目 大阪屋號 京城本町二丁目 嚴松堂

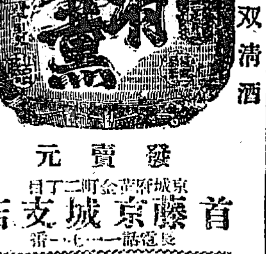
朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 成普商業學校講師 西村眞太郎著

製造元とのやくそくで割の安い品そろいの

他の日用品向雜貨食料品
[illegible]、砂糖、麥粉、莨、金巾、燐寸、石油、洋傘、鍋釜、瓶類、乾物、罐詰、ビール、サイダ、葡萄酒、淸酒、醬油、染粉、足袋、其

大仁川 おしろ本町
河野本店
電話二八番 振替京城一二二番

醇良無双淸酒 衛生無害品質無双



發賣元
首藤京城支店 京城府黃金町二丁目 電話長一一七一番
首藤釜山支店 釜山港幸町 電話長三四三番

田中善株式會社

輸出入業並に代理業
（本社）釜山府本町四丁目廿五番地
（支店）京城本町二丁目
（出張員）大連市監部通[illegible]番地

田中善株式會社代理店
同和棉行
（本店）京城府本町二丁目卅四番地
（支店）奉天城內鐘樓南
（營業要目）絹綿毛麻各種纖維工業品其原料品及雜貨並に特種產物の輸移出入、一般代理業

平壤小野田セメント會社製 石灰一手販賣

京城古市町
苫米地商店
電話九四一、三一〇八番 振替京城五三番

○王世子御健かに
長途の御旅行なるにも拘らず些の御疲勞の色無し

二十八日朝釜山著御歸鮮の途に著かせられたる李王世子殿下は殘暑猶ほ厳しき長途の御旅行なるにも拘らず些かの御疲勞もなく、同日午後九時四十五分御入京ありたり之より先き閔李王職長官、尹澤榮侯、尹德榮子、李載覺侯、李海昇侯、趙東潤男、李完用伯、任善準子、李允用子、其務務官、朴泳孝侯、宋秉畯子、其他李王職々員、御親戚貴族は釜山、大田、水原、永登浦等まで出迎へたるが殿下は懐し氣に微笑まれつゝ一々御挨拶見相成り、種々の物語りに打興ぜられたる狀この冬の御歸鮮の砌よりも御健かにぞ見受けられたり。

▼父王の事のみ案じ給ひて 深き御孝心＝夜露も厭はせられず

途中より陪從したる權藤事務官曰く『父王殿下の御病狀に就ては毎日一回宛報知を受けて居た我々は經過良好と言ふ電報に接する毎に愁眉を開いて居たが御孝心深い殿下は父王殿下の事のみ案ぜられて

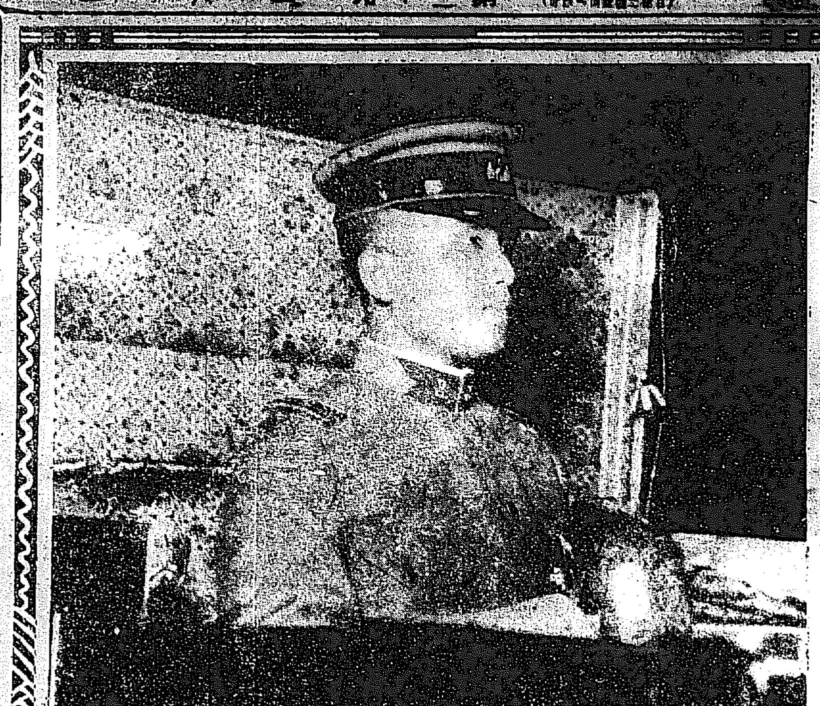
れざ玄灘の月夜を賞せらる

ので殿下も非常に御滿足の模樣であつた、關釜間は前回同樣波靜かで十時頃ともなれば海上に輝かしい月が浮んだ風情は得も言はれなかつたので殿下は夜露に重服の袖を濡らすのも厭はせられず甲板を逍遥遊ばされた又連絡船が牧之島を左舷にして愈々釜山港に入航せんとする時

▽油の樣な海面 に一刷毛白く刷かれた雲の中から五陸島が浮び揚がつて居るを綺のやうな景色にもいたく感興催されて『一行には詩人なきや』と傍を顧みられた程で、長途のお疲れもなく常に御愉快の模樣であつた

▼京城からの報せ を待ち佗られぬ日とてはなかつた時恰も此の卅一日は父王殿下の御誕生日に當らるゝし、世子殿下も三週間の休暇をお取りになる事が出來るので、御昇擧を兼て御歸省遊ばされたのであるが、途中沿線では第十七師團長の古海中將を始めとして、御同窓の將校連が迎送して長途の旅情を

▼お慰め申した



♧歸京の李王世子殿下（廿八日夜南大門御下車の自動車上にて）

▼濶達にして勇武の御氣象 灼熱の日を浴びて十數里の御行軍

武官は殿下の近狀に就て語るら、『私が殿下の御近狀に就いて昔の東京支局の方にお話したのが掲載されたので詳々しく

▽申す迄の事も ないが只殿下が灼熱の日を浴びられながら十數里の行軍に耐へられる計りでなく、乘馬をお薦めして『お前が乘つたら宜からう』と仰せられ兵卒と同じやうに行軍を續けらるゝ事抔が屢々有るので私共は常に殿下は御快活で忍耐強く到底自分等の及ぶ處でないと恐縮に感じて居る、それからつひ數日前殿下は

▽朝鮮人將校が 四名程沿海州方面に出征した事を聞かれて『近衛師團に動員令が下れば予も出征する事が可能るが、思ふ通りにはならない、殘念だ』と仰せられたが、殿下の御氣象の濶達勇武に在られる事は此御一言でも窺はれる事と思ふ』

▼傍の見る眼にも さこそと感慨胸に迫りたる
御父子の對顏
御歸京を待ち焦れ給ひし程に

寢室に入らせられたる王世子殿下には直ちに咸寧殿にて李太王、李王兩殿下と御對顏ありたるが、李太王殿下には御嘉弱き御苦痛を忍ばせられて

◆朝のほど より立らて坐は御通過蹶を御賞聞遊ばされ、りては包みきれぬ喜びを色に現はされるなど實にも一刻千秋の念ひにて殿下の御歸京を待ち焦れさせ給ひしほどに、殿下に御對顏遊ばさるゝや、はや

◆老眼に涙 を浮かばせられ何くれとなくお慰みの言葉ありたる後『大皇陛下より御勅許を得て歸省せしや』とのお尋ねあり世子殿下より出發の日の前日勅許を得て食品出發したる由申上げられたるに殊の外御滿足の體なりきそれより李王殿下お手づから李太王殿下の御繃帶を解きて

◆御疾患の 症狀を示されたるに其時李太王殿下は世子殿下に向ひ『前年生母の最後の際に遭はざりしを遺憾に思ふところから、遠くわざく病氣見舞のために歸省したるならんが、經過も宜しければ決つて案じ煩ふな』と仰せあり

◆御歡談の 後世子殿下には不造殿に入らせられたるが例に依つて御父子の對顏には凉しき風の室に滿ち、いともお樂げにて傍の見る眼も御父子の情さこそと感慨胸に迫りたりき

▼御逗留日程

王世子殿下京城御逗留四日間の日程は左の如く決定したり

▲第一日（二十九日）午前中咸寧殿伺候、午後二時御出門昌德宮樂善齋にて李王同妃兩殿下に伺候せる後同三時帝室博物館御臨覽、同五時より石造殿にて御親戚貴族接見

▲第二日（三十日）午前中咸寧殿に伺候、午後二時德壽宮に殿展謁、歸路慶安宮展拜

▲第三日（三十一日）李太王殿下御誕辰に相當せるを以て德壽宮に開かるゝ内宴に御參列

▲第四日（九月一日）午前十一時御出門、昌德宮樂善齋にて李王同妃兩殿下に對面せる後零時半仁政殿にて午餐の内宴に參列せる後御歸還

▲第五日（二日）午前八時二十分咸寧殿御出發同八時四十分發列車にて御歸

○米船沈沒

去る二十三日午前五時三十分頃榮山江に於て東山農場の玄米二百八十二叺（價額四千六百五十三圓）を積み木浦に向へる木浦□□町高岡祥吉所有日本形帆船八幡丸（百五十石積）激流の爲め操舵意の如からず遂に暗礁に觸れて沈沒し船頭二名の中一名は行方不明となれり報に接し木浦署よりは警備船第三□□丸を派遣したるが東山農場にては沈沒米に對し三千九百四十八圓の保險を附しゐたる由

○我遣伊航空隊確定
總員約百名九月中旬出發

所澤航空大隊より伊太利への派遣隊は時局の爲め最初の計畫を變更し現に服務中の第二期生内藤、坂本二中尉及び現航空大隊附第六期生大塚、木津□の三中尉を選拔する事に確定し尚目下練習中の第七期生二十名中の半數を選拔して參加せしめ尚之れに下士卒合せて約百名に達す可く司令官には大佐級將校の任命を見る可く九月中旬所澤出發征途に就く筈也と（所澤電報）

○兵事係
は戰爭氣分が充滿してゐる

吏に〇〇〇下りて目下〇〇〇下りたる結果府内にも所々に〇〇に上るべき軍人がある樣子であるが京城府の兵事係では矢張此の種〇〇若くは〇〇令狀に據り途識〇〇すべき軍人に對しては鐵道

☆乘車割引證 の交付を爲してゐる今回の〇〇令に依る鐵道乘車證の交付は二十六日より二十八日正午迄に僅々四五名を算するのみにて初めの時に比較すると甚だしく少い感がある之れに關して係員の一人は語つて曰く『初めの時とは違つて今度の〇〇〇〇〇所謂の在住民が京城に尠いからでせう矢張朝鮮には

★九州の人が 多い樣ですね……然うです兵事係では一般〇〇等に關しては何等關係は無いのですが之に關する〇〇なり電報なりを持つて來るものには所屬〇〇に〇〇するに至る迄の鐵道乘車割引證を交付することになつて居ます其でも直接原籍地の市町村役場其他の方面から總ての手續きを濟まして來るものとか鐵道乘車證の交付を受ける迄がなくして出發したこいふ樣な人も

☆可なりの數 に達するらしく之等の人に關しては兵事係では何も知る所がないのですやうでしても判らないのです……昨今は例の簡閲點呼の令狀交付に日も尚は足らない有樣です其れにないし兎角昨今は兵事係も戰時氣分が充滿してゐます……』と

○米廉賣所の暴動
惡老婆の死眞似から 群衆と警官との衝突
鍾路青年會員の妄動から再燃＝終に百餘名の繩付を出だす

二十八日午後二時頃京城救濟會米廉賣所の一なる鍾路小學校販賣所に於て僅かなる紛議より暴動勃發し約一時間の後鎭靜せり然るに

▲事件發生と共に 其の調査進行上新聞記事の掲載方を禁止されしが犯人檢擧と共に同夜九時禁止を解かれしを以て是れが顛末其他の詳細を詳記せんに元來京城救濟會の廉賣所は學校其他の九箇所を以て之に充て居たるが各所共大抵毎日一千人乃至

▲二千餘名の群衆 にて之れが雜沓取締りの爲め臨場し居れる警官も手に了へざる程の盛況を呈しゐたりしが偶々騷擾を惹起したる鍾路小學校の販賣所は同日早朝より例の如く米買ひの群衆殺到し大部分朝鮮人のみにて其の數一千餘名にも達し雜沓整理の爲め鍾路警察署より巡査一名巡査補三名臨場朝來無事にて午後二時頃迄に無慮七八百名は

▲順次米を購ひ得て 退散したる際當日の廉米が遂に賣り切れとなりたるより係員及び警官は其の旨未購入者に報告し一先づ切り上げんとしたるに偶々群衆の中に一名の朝鮮人老婆あり執拗にも暴言を吐きて警官に喰つて掛り警官の説諭も更に聽き入れず二言三言論爭し居れる内群集し來れる群衆に押されて件の老婆は打倒れて絶息したる風を裝へり爲めに

▲稍神經興奮し居 たる群衆は居合せたる警官に向つて『警官が人民を撲り殺すとは不都合ではないか』と絶叫せし爲め之れを聽きつけたる約二百名の群衆は的切り警官が老婆を撲り殺したるものと速合點し其の一巡査補を包圍して將に袋叩きにせんと荒立ちて見えしより他の警官等も之を制止せんとして端なくも茲に

▲群衆と警官との 衝突を惹起して大事に及ばんとしたり茲に於いて直ちに鍾路署に急報して來援を求め同署より署長神崎警視以下多數の署員馳けつけし際は四名の警官は危急の場合に陷り居り之れを救ひ出して暴動を鎭壓せんとしたるに荒れ狂ひたる約二百名の群衆は鯨波を擧げて暴れ廻りしも署員の增加に依りて一時鎭靜に歸せり

▲然るに此事を聞 きて傳へて校庭に押し寄せたる多數の彌次馬共の數一千餘名と註せられしが其の中に漢城基督教青年會の壯漢三名あり壇上に現れて大喝一聲群衆に向ひ極めて煽動的の熱烈なる辯舌を振ひし爲め一旦沈靜したる群衆も俄に蹶起して再度暴行を働くに至り外より來集したる彌次馬も加はりて猛烈に暴出し

▲遂に學校の板塀 三間餘を破壞し標木門柱を打ち破り激しくも朝鮮一流の飛礫の雨を浴びせ掛けし爲め校舍中西北端に在る二階建の一棟は階上階下共窓硝子障子を破損し早くも數十名は教室に闖入して内より硝子を打ち破り器物を破壞する等亂暴狼藉の限りを盡したり

▲折柄神崎署長は 部下の署員を指揮して鎭壓に努め居れる内群衆の投げたる角立ちたる稍大なる石塊が帽子の上より頭部に命中し長さ約一寸の裂傷を負ひたるにも屈せず勇敢にも署員を指揮し居れる内鮮血迸り上服を物凄く染むるに至れり斯くて騷動勃發の急報と共に即時警務部長國友大佐は多數の憲兵、警官を率ゐて現場に驅つけ又他に

▲前後して本町署 よりも多數の警官來援し其他京城分隊、警務總監部、憲兵隊司令部、龍山分隊よりも續々應援來着したる爲め騷動は程なく鎭靜し直ちに犯人の逮捕に著手したるより多分は早くも逃亡したるも尚ほ踏み止りて喰ひ止め漸次搜索に從事し午後八時頃迄には主謀者と見るべきものを初め約百名を引致するに至れり而して

▲一方事件の發生 と共に京城地方法院より境、横田、山澤の三檢事、植山、山縣兩書記を帶同して出張檢證し鍾路署司法主任下村警部は三檢事と共に取調べに着手而背せしが一時に約百名を留置せしことて流石の鍾路署構內も全く立錐の餘地なき有樣となれり同署にては全員引續き嚴重警戒し府内各隊署よりも應援隊を以て同夜市中の要所を警戒して徹宵偵邏せり

△負傷せる 神崎署長 …繃帶のまゝ執務…

今の暴動鎭壓の爲め臨場せる際不幸にも頭部に負傷せる神崎鍾路警察署長は程なく馳付たる醫師より應急手當を受けし爲重傷といふ程もなく治療約十日間にて治癒すべしとのことなるが記者は現場にて『如何ですか負傷の程度は』と見舞たるに『何しろ一抱へもある石が雷落ちに來ので一時は目が眩んで昏倒しさうにあつたが勇氣を鼓して奮鬪したので痛みも忘れてゐた程で大したことはあるまい』と繃帶した儀帽子を鎗つて老婆の非務を執りつゝ勇士振を見せてゐた

△老婆は傷も負はず

此の事件の直接導火線となりし前記の老婆は一時絶息の風を裝ひたるのみにて何等の負傷もなきは勿論何等生命等に關する事は無しと

○廉賣米は愈々市中小賣屋に委託する事に決定
但し廉賣所は廢止せず 粟も賣出す事になつた

米の廉賣に關し其筋より京城救濟會に對し諸種の事項を提議したるが救濟會に於ては二十八日夕刊所報の通りなるが救濟會に於ては協議の末右提議に基づき左の通り決定近く是を實行する事としたり

（一）廉賣米は精米業者より救濟會に提供せしめ救濟會より内地人側及び鮮人側白米小賣商組合に委託販賣せしむること

（二）廉賣券は各町洞總代に依頼し配付すること

（三）廉賣時間は午前十時より午後七時迄とすること

（四）粟の廉賣を開始すること

（五）廉賣代金は石拔き三十錢、石不拔き二十六錢、外國米十八錢粟十三錢とすること

尚白米小賣商に委託後と雖も從來の廉賣所は成可く其儘とし減數せざる筈なるも現在使用せる學校は各公立學校にて九月一日より何れも授業を開始する筈に付場所の變更は免れざるべく此は調査の上大々決定する事となるべしと

○新聯隊長馬に蹴れて
重傷を負ふ

金澤第七十八聯隊附步兵中佐中村好氏は今回宮崎縣都城第六十四聯隊長に新補せられ近く赴任の途に就く筈なりしが二十六日夕突然乘馬狂奔し中佐は右肋骨を蹴られし爲め重傷を負ひ目下療養中なるも當分全癒に至らず可しと（金澤電報）

○重要書類竊盗
犯人捕はる

廿三日夜安東驛乘換へ休憩中なる御貨行き都督府陸軍部附步兵大尉鈴木要作氏の軍事重要書類入れの手提鞄を盗み逃走せる藤原惣（三五）は前科刑事の爲め廿七日夜奉天にて逮捕せられたり彼は前科三犯の曲者として共類者龍川、西川の兩人は安東にて取押へられたるが同安東在住の藤原内縁の妻も目下嚴重なる取調を受け居れり（安東特電）

○鮮、支人夫百名……
入亂れて爭鬪す
互ひにスコップを振廻して 十餘名の負傷者を出す

鮮人側が支那人夫に反感を抱いた爲めか

仁川萬石町所在埋築工事場に於て廿七日午前十時頃同工場使役の鮮支人夫約百名の衝突あり從來同工場にては鮮人勞働者のみを晝夜交代にて各四十名位宛を使役しつゝありしが近時鮮人勞働者は勞銀の昂騰に作れ生活狀態は却つて幾分の餘裕を見るに到り之が爲め

▲勤勉を缺き 作業上の支障を生ずる等の事より勞々同所は數年前に於て支那人勞働者を使役し頗る好成績を得たる經驗上今回三十餘名の支那人を傭入する事となりたるが鮮人人夫間には之が爲めに支那人に對し幾分妬みを生じたるかの感あり偶々廿七日午前交代作業に掛らんとする時些々たる

▲言葉の行違 ひより鮮人約七十餘名と支那人十八名との間に衝突を起し工場用のスコップ其他を振り廻して爭鬪したる結果支那人側に十名の輕傷者を出だし鮮人一名裂傷を負へり急報に接し仁川署より直ちに警官出張し直ちに之を沈靜したるが加害者其他關係者は目下仁川署にて取調中

○夫は戰死子供は慘死
砂本特務曹長の留守宅

晴れの戰場で萬一の不覺を取るやうな事があつてはと子供の慘死も知らせずに居た其矢先……

許斐大尉と共に名譽の戰死を遂げたる砂本特務曹長の留守宅は小倉市外中津口に在て家族は未亡人もよ子長男章（八）長女小枝子（五）の外同氏の實母さよ弟安太郎錆二の六人暮しなるが廿六日悲報を齎して未亡人を訪へば遊にせきよぐる涙を止めも敢ず語るを聞くに獨り良人の戰死のみならず意外の不幸の此家に打續く氣の毒至極の一事實をも耳にして思はず貰ひ淚に咽びつゝ辭去したり『去る十九日

▽末子の嚴（二）が一寸目を放した間に家の前の水溜に落ち込んで無慘の最後を遂げました夫の不在中斯んな大事を惹き起して妻は夫に申譯がない、こういうて知らせて遣つては怎んなに落膽するだらう其の爲めにまた晴れの戰場で萬一の不覺を取るやうな事があつては猶更申譯がない是は無事凱旋の其時迄知らせるではないと途に控へて知らせなかつた間に却て

▽夫の悲報 を受取るとは何といふ悲慘な妻の境涯でしやう』と不覺の涙にドッと崩れ込むも道理なり次いで出征後同氏の便りに就て『當地發後三回の便りがありましたが隊に關する事は書いて

▽酒を好んで 居たものですから外の事は丼いてなうでも已の机の上にブランデーがあるから冬物を發送する時に麥藁に包んで一緒に送つてくれ當地はアルコールを禁止してある土地柄丈に酒に難儀をして叶はぬといふ事が書いてありました』（門司）

□救濟會寄附

金五十圓　田中友吉
金十圓　申泰和
金二十圓　金觀泳
金十圓　李守散
金十圓　閔潤植
金五圓　朴泓信
金十圓　廣東商會
金五圓　三昌商會
金十圓　信行商會
金五百圓　朝鮮皮革株式會社
金三十圓　本派本願寺京城佛教婦人會
金一千圓　不二興業株式會社
金百圓　李海昌
金三十圓　禹恒鼎
▲本社經由（以下三口）
金五十圓　横山隆一　支店
金五十圓　金潤晃
金二十圓　金潤秀
金百圓　趙東潤
小計金二千十圓
累計金八萬四千九百六圓二十錢也

○感心な米屋

京城橋北洞米商鄭仁植は持米を廉賣せんとせしも細民多く寄り施米せんこと二十二日より三日間一名に對し白米一升五合と粟一升五合とを加へ合計百五十名に配付したりと

○帆船坐礁

二十七日帆船春日丸（二百噸）は木浦沖の石水營附近に於て坐礁し救助を求むる旨急報ありしより木浦署にては巡邏丸を現場に急派したりと

讀者文藝（一等には五十錢の御禮券を呈す）

▲課題救濟會こかけて『鶏飼ひと解く心は岐阜（寄附）で』する（一等）　市内大和町　桂信介

▲決死隊と解く　心は有志（勇士）の集團で成立つ　西鮮　奇峰生

▲臨時議會の召集と解く　心は議員（蟻）が集まる　利川　訴光生

かぜつね　面白い程きく　カギヤピリン　故内外小兒用と各藥店にあり　彼是と手遲れせぬ樣直ぐ用ゐよ　本舗　名古屋　荒川長太郎

主治　胃腸病・呼吸器病・心臟病・婦人病・神經病　京城　藤井百太郎　診察時間　自午前八時至午後四時　往診　自宅

日本で初て　新派連續大寫眞完成　海島冒險立志美談　大悲壯劇　潮の如く　第一回　第二篇上場　第十百萬弗の秘密　天下無敵　忍術十勇士　廿九日より　黃金館

花柳病　外科專門　●梅毒●淋病●泌尿生殖器病●睾丸病●肛門病●皮膚病●婦人病●神經衰弱●ヒステリー　606　京城南大門通興業銀行裏　司生堂醫院　電話三〇六五番

京日案内

女給仕一名採用　十五歲より十七歲迄希望者は本人來談　京城黃金町二ノ百五　電話一六八一　東京建物株式會社京城支店

看護婦二名採用　但要學者は本人乞來談　京城武橋町四　電話一四六六番　濟生醫院

獵犬　牝ポインター種二歲半にて五尺高一尺五寸　金十圓　京城　瀧川銃砲店

乳母入用　年齡十八以上三十歲まで本人來談ありたし　櫻井町一丁目　電話五七〇番　新田

外務員招聘　希望者は履歷書持參　黃金町二ノ九六　日清生命　鮮支部

工場係入用　鮮語を解し發動機使用に經驗あり且身體健全にして此の業に熱心なるもの

職工至急入用　時計　希望者は來談又は履歷書送れ　大邱　木村時計店

妻の心　七十七

十二の四　小林蹴月作　武内桂舟畫

公然と秘密とはあるが、廣い世の中には可なり澤山妾同棲の家庭も見受くるやうである。而も、その多くは、主人公その人の墮落不倫沒常識に原因せぬものは尠くないのであるが、中には又、經濟的から割出しての同棲もあるやうだし、恰度此の町川家庭のやうに主人公の夜泊り日泊りを矯正するために細君の一方略として、それを承認するのもある。併し、何れの途妻と妾の同棲する家庭に於いて、圓滿平和なる家風の醞釀を見る事はむつかしいのである。否、決して、人間世界に望ましき事ではないのである。それを敢へてした禮子の心持は、果して甚麼であるかと云へば、實際別に取るべき方法も于?』

良ど拙きはてた結果とは云へ、若い組な家庭へ同棲せしむるが爲めに、果して良人の不行狀……無責任がバツタリ矯正し得らるゝものならば、母親の口癖に云ふ、町川家のためは勿論、自分の生涯に取つて、是れに上越した幸福はないと信じたからの事である。だから、此の幸福を獲得せんが爲めには、自分一人の內面の苦痛、辛酸は火水の苦若以上であらうとも、乾度辛抱し乾坤堪忍し通して見せるとの決心を定めて居るので、世間に能く有うちの嫉妬とか邪推とか、皮肉の云ひ合ひとか、乃至は端たない口喧嘩とか云ふやうな事は、庭の石燈籠の根が腐れて朽る時はあつても自分に限り、永遠にそんな氣遣ひはないものと、神かけて心底から誓つて居るのである。其處へ所謂若眼の江戸氣質と偶然にも投合した所ではあらうか……。

『まあ、良人がそんな事を申しとつたんで御座いますか。阿母さまの方には、當分の內一切家庭上の事に嘴を挿んで頂かない約束を爲ときましたから、駒子さん諦めやうですけれども、是からは貴女の力で、良人の心が圓滿に融和するやうお願ひ致しますよ。』

『奥樣、まあさまぐの取越苦勞を遊ばさないで、妾の爲る所を御覽になつて下さいまし。それに彼の櫻井さんなんかが、今が今此處へお越しになりましても、妾乾度假好くお斷りを申して了ひますから……。』

『でも駒子さん、その櫻井さんは現に貴女との關係筋だとやら云ふお話があつたでは御座いませんか。』

『ほ、ほ、ほ、そんな事はもう億の生れた昔話なんで御座いますよ。先日深川亭で彼のやうに申しましたのは、奥樣のお身の上が餘りにお氣の毒に御座いましたから、彼アも申したら、旦那樣が必ず、妾と云ふ者を御斷念遊ばすに違ひないと存じて、それゆゑの方便に過ぎなかつたので御座いますの。それに段々事情をお聞きすれば爲るほど櫻井さんツてお方は、何だか腑に落ちない事ばッかし遊ばしてお在のやうですから、妾、全然彼のお方が嫌ひになつて了ひましたんです。』

『……まあ、それをお聞きしたので、妾も一入安心で御座いますの。』

現在の從兄妹同士で居ながら、禮子は先天的に順吉郎が嫌ひであるが、その上、俊やと云ひ、駒子と云ひ、お世辭にも順吉郎を好く云ふ者は只の一人もないのに、母の寄久子のみは何うした理由で、彼れほどに深く順吉郎を信用しきつて居るのであらうか？禮子は、今更のやうではあるが、寧ろ不思議に堪へないのである。

ちりくくんと一しきり、電話の電鈴が鳴り響くと間もなく、一人の女中は慌たゞしさうに駈け來て

『あの、奥樣、今日は何うしたお目出度い日で御座いませう。奥樣が斯うして無事に御退院遊ばしました處へ、只今又思ひがけなくも旦那樣からもお電話で御座いますの。一時間ばかりの內に歸宅するから、室を能く掃除して置けとの御吩咐なんで御座いますよ。』と知らせる。

◇米の次には　木綿の値下

今日の米價暴騰は既に數年前に豫期された問題で誰れにも容易しく影響を及ぼして居りますが一體にお米は一人一年間に凡そ一石位のものですから暴騰しても他の費用に比べて一年間のお米の價額は僅なものですそしてお米の問題で騷ぐのは細民が多いのです彼等の生活の凡ては食物にあるので今日政府で安い御米を賣るやうになれば喜んで風呂敷をさげて

◆買ひ　に行きますから細民はそれで救はれます、中流生活者が今日お米を買ひに行かぬ事を兎や角申すやうですがこれは間違つた說です、買ひに行かぬが當然です中流階級にはそれ丈けの氣品が必要であり是が爲めに下層界との別があるわけですそれ故氣品を保つにはどうしても細民に交つて御米の買ひ出しに出掛る事は出來ますまいそれを買ひに行けと云ふのは暴虐中流を下層社界に近づけよと云ふ事になりませう又

◆中流　生活では實際から云つて米の暴騰以前により以上の生活難が種々にあります、それ故細民はお米によつて生活を救はれても中流の困難はお米だけで救はれてはおきません、そして又中流階級として一家の米價はそれほどの問題にならぬものです、近頃お米ばかりの暴騰に騷いで居りますがそれより大きな問題がありますそれは木綿織物の非常に騰貴して居ることです今年なども衣浴が大層高く、そして此等の會社とか問屋では十二三割位の配當をして居るとか申すことです、綿絲類の盆出も多少騰貴に關係はありませうが夫にしても餘りの暴騰です、綿物は少し高價になつてもよいとして木綿類の騰貴は生活に非常の

◆影響　となります況して今日の暴騰は米價以上の問題とならねばなりません、處で中流階級の生活には食物以上に衣服費を拂ふと申します、而もこれは婦人が主でありますから此際婦人が同氣相求まりて木綿類の値下げ問題を考へ米局樣に政府の方法を仰ぐやうに婦人の力で爲すべきだと思ひますそしてお米で暴利を貪つた者を制したと同樣

◆綿絲　の暴利者をも制する必要があると思ひます、よし從前の價格にならぬ迄もせめて現價の半分位にしたいものですそして衣服と婦人とは關係が大い事で殊に中流階級では食倒れと云ふ事はありませんが、婦人の著道樂で家產を傾けたと云ふ例はよくありますから中流の生活難が婦人の衣服に關係して居ると云ふのですから此際木綿の値下げ問題を婦人の力で喚び起すやうにしたいと思ひます是れは急務であります(東京通信博士)

院長　醫學士　森定吉
(美容醫院改め)
森　內科　小兒科　病院
…へ來院隨意…
京城明治町三丁目(舊鶴田醫院跡)　電話二六二三番

牛乳　病院御用　朝鮮成歡
京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

品質本位
人蔘エキス　チンキ
其他諸製劑
京城南大門通二丁目
朝鮮化學製藥株式會社
電話一三一六番

日報歌壇

○歸人街より　　貝谷砂丘

うす暗らひいまだ睡れるしのゝめの歸人街ゆ鷄鳴くきこゆ

木蔭ないたゞきてゆく歸人の賦あざやかに朝日さしのぼる

夜霧の沈れゆくなべに鷄頭はやゝに添れつゝいよゝま赤く

すいすいと棧のごとくにとびかへるきつか見れば秋立つらしも

故鄕のもろこし畑にあきつむれ淵亭鳴りつ秋立つらむか

○妓生　　大舘親陀

アカシヤの茂みに月のほの白く街路に子等の歌うたふ聲

アカシヤの月さすなべにほしき歌きゝて濁るゝがにおもひけるかも

うつくしき牡丹臺下の子と生れ妙齡の齡に笛たけにけり

秋の陽に光る琥珀の瞬かざり眩しと云ひてかくし給ひぬ

秋の月は風か拝舞も悲しやと茶洞の谷は我に語りぬ

○初秋　　岡田汀幽

語る蜂百葉かな

王陵も逃れて聞ゆるさみの聲いさゝか放たれし孤獨――悔もなし

自然よ、汝が初秋の情緒に小さき兒の涙もなく微笑めるか見すや

寶に錆びし葉の秋空は處女の瞳して澄み晴れやかに白雲を歐ひゆく。

冷やかな朝に……落日の夕に……自然よ、悲しき甘さのなどでしても我れを微笑ましむる

絶えず歐ひまた想ふ寂しさ、わが孤獨の詩あるま！よ

日報俳壇

曇り日　　黃海信州にて　春哉

鷄群れ啼く空ドンヨリと曇り

明けきらぬ庭の朝顏は明るし

隣りの兒が七夕流して今日も曇る

曇り日の堤防を往く黒き牛

重々しう樹々葉を垂れて曇る

荷車を挽き登る坂は風もなし

瓜冷したるまゝ夕べとなりたり

羽を浸す燕に朝の水は曠し

空の曇りを流へて春る、池

庫建ち並ぶ空深々と晴れたり

……三幕寺まで　　永登浦　燦影

寺は八月六日父母に從ふて冠岳山脈の一ツなる三聖山に登り、三幕寺といふ古刹に泊して一日の行樂を恣にしました、尙かつたとは申迄もありませんが桔梗、刈萱、女郎花などの秋草明う咲き滿ちたる境內閑かに閑古鳥啼きてシンミリと句を想はせました。

門毎に鳳仙花咲ける洒蓆かな

我が裳編草花の露に濡れけり

霧の晴れし尾上は晴し閑古鳥

梢洩る陽に明るさよ合歡の花

　　　望海樓

樓に迫る青葉に海が動くなり

木影涼しく下山の汗を拭ひたり

　　　歸宅

暮れて歸る我車の灯涼し

我家の灯涼しく風に動き居り

新刊紹介（到着順）

▲新家庭（九月號）不號より裝訛綸にて東京新名所繪を紹介することゝなり、先づ第一着手として田中良滿伯の二重橋が載せたり、口繪、插畫、欄畫、實共に相變らず嬰雷にして寫眞に於ては努力の跡見ゆ、記事としては避暑地に於ける各名流婦人を紹介したる婦人の知つて泣くべき支那問題、悠名女史の現代思想界の革命、名流婦人のお噂、歐洲大戰の裏と表、新婦寸評、家庭に於ける米食の節約、流行ローマンスた始めとして投亭の月滿つる夕、北島春石の遡戀明、東郷治譚の戰爭小說、征服等の各小說等あり、例によつて清新なる雜誌なり（定價三十五錢東京芝公園九號地玄文社）

▲而口俱樂部（九月號）趣味を目的とせる雜誌にて內容の充實と體裁の完備さを以て別に新見地を造り何れも興味と趣味を中心とせるものを以て滿されたり尙各種の懸賞募集あり（廿五錢ゆ東京本鄕區駒込坂下町四八講談社）

▲實業之世界（一五の六）十八錢東京麴町有樂町一の四其社

▲朝鮮醫學會雜誌（二二）朝鮮總督府醫院構內朝鮮醫學會

▲日本之關門（三五）廿五錢下關東南部町一七歸其社

▲時事評論（一三の八）月二回發行廿一錢東京四谷區町三の三八其社

▲報德（八の八）六錢鹿兒島市山下町三九五鹿兒島市報德會事務所

▲經世（一二六）十五錢東京芝田村町六其社

讀者の領分

▲小生は明治四十四年御承知の全鮮通事人に御座候が今以て演習及び點呼に關する何等の通知も無之候が如何に御座候や、但し正當の手續は致し居り候　何卒御教示下され度し（仁川在京生）

▲新義州に於ける汽罐破裂は死傷者を出したるは一に當事者に於て相當技術者を雇用せざるに依るも大なる原因は機械による將來機械を購入せんとする者は內地の相當信用ある者より購入せらるゝを望む（實見生）

▲假令禁輸令無きにせよ米價暴騰の爲め上下不安に堪へざる今日自らに恥らしてすぐ恥を知らざる輩に對し市民は之を懲らすの權威とは何でや今日以降彼等に鐵ボイコットするは痛快なるも鷄を裂くに牛刀を以てするの感なきにあらざるを以て現在若し公職を有するものあらば之が辭職を勸告し必ず之を行はしめ又今後に於て彼等無恥の輩を公職に就かしむ可らず（龍山ケイエフ）

▲廣　告▼

◎時局と滯貨

八月廿一日現在[illegible]特產物の滯[illegible]

[illegible]頗る増加したるに因るものなるが最近に至り[illegible]の軍需物は東[illegible]の五[illegible]特產物の輸送に影響を受けざりしかど過日降雨に際し列車の運轉を[illegible]

亞鉛の電氣精錬事業は時局に伴なつて驟然と勃興し今や

◆大小十數社　を數ふる[illegible]

[illegible]國政府は右ボートセリ亞鉛の

◆輸出禁止を　宣し次いで[illegible]亞鉛含有率高く供給豐富なる良鑛の如く認へ向きに發見せらるべき[illegible]のみならず同一性質（炭酸物含有）の鑛石を多量に得ることは[illegible]る雜多の鑛石を混用する外なく勢ひ生產地の増當を避くべからず[illegible]輸を受けて諸式電氣亞鉛製造の[illegible]內外に下落したるも其の後三井、大阪亞鉛製造、鈴木の三者は[illegible]今後の成行を見送りつゝある狀況なり尤も現在內地に於ける原鑛[illegible]

清涼

夏を忘るゝ肌心地
薰風起る皮膚の艶

夏の命なり

品質本位
花王石鹸

花王石鹸　香水鹸　製造元　東京代理店　東京馬喰町　長瀨商會
日本水香鹸　花王石鹸　輸入元　西國代理店　大阪安土町　大崎組商會

しぼりはらよし
コレガ有名ナ　あかだま（赤玉）
淺野製
くだりはらよし

各種　石鹸　製造元
京城元町一丁目
生田組石鹸工場
（電話龍山二二六番）

◎朝鮮名產として絶好なるおみやげもの

朝鮮　淫羊藿エキス（いんやうくわくえきす）
人蔘三優强壯劑
藥草　通稱三枝九葉草エキス

一神經衰弱症　一胃腸病　一ヒステリー
一貧血症　一腺病　一ヒポコンデリー
一腎臟病　一生殖器病　一老衰
一肝臟病　一リウマチス　一精力減退

以上に依り適應症左の如し

一、精力を盛んにし精神を爽かにし體力を增し元氣を良くす
二、思考判斷及び記憶力の減耗を癒す
三、讀書計算の疲勞を癒す
四、安眠し亦眼の疲れを癒す
五、筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す
六、消化及び便通を良くす
七、產前產後及病後の衰弱に良し
八、血の道神經症に良し
九、子なき人に良し
十、貧血虛弱を癒し榮養を良くす
十一、手足腰腿の冷ゆるに良し
十二、除痰遺精及子宮病に良し
十三、癲癇に良し
十四、長壽なるべし

定價　二十五入金壹圓　三十五入金壹圓五十錢　四十五入金貳圓　九十入金三圓三十錢　送料　鮮內二十錢　鮮外三十錢

全國一手販賣　京城太平通り　京城日報社代理部
電話長六〇〇九番　構內十八番・振替京城三〇〇番

京城特約店　山岸天佑堂　北島支店

最上醬油
朝鮮仁川港
高杉醬油釀造場

京城本町
大阪屋號
（振替京城[illegible]　電話[illegible]）

最新刊

書名	著者	定價
天然利用健康增進法	伊藤尚賢	九五
心靈現象の研究	小熊虎之助	一、二〇
海宮と開運	森友道	一、二〇
朝鮮語の先生	把倍副	一、二〇
赤木格堂著　◎獨逸を中心に	定價一圓三十錢	
大正七年度遞信地圖	遞信局	一、六〇
圖解投入花盛花十二ヶ月		一、六〇
西田物案千前十二ヶ月		一、六〇
サフオ　ドオデエ作	武林無想庵	八〇
日蓮主義日訓	小林一郎	一、二〇
グーリー式の學校	田中當吉	九〇
總督府編　◎朝鮮大地圖	折疊價二圓	
鐵道從事員習字帖	伊上野	五〇
ペン書簡文習字帖	同	五〇
給本科史小說第五集		三八
最新電氣現勢指導圖	民友社	五〇
[illegible]	表ほうしろ前	七五

京城龍山等各地に僞物有御注意

◎りん病ばい毒　患者諸君
◎にせドラッグあり御注意

近來東京其他各地にドラッグの類似品出で[illegible]
好商なり　當る藥を濫用する

京城南大門外停車場通　ドラッグ商會
木浦　大阪　ドラッグ商會
花柳病專門藥房　ドラッグ商會　本町
電話二五七番・振替京城四七番　大阪ドラッグ商會
京城黄金町三丁目　龍山[illegible]